

エンサイクロペディア ログ・ホライズン

2014 Winter

星詠亭



The Encyclopaedia LogaHorizon



2014 Winter



SilverRain

目次

7	〈冒険者〉	46	〈ハーメルン〉
8	〈記録の地平線〉	48	〈ドレッド・パック〉
12	〈三日月同盟〉	50	〈Plant hwyaden〉
16	〈D. D. D〉	54	〈オデュッセイア騎士団〉
19	〈ホネスティ〉		
20	〈黒剣騎士団〉	57	自由都市同盟イースタル
23	〈グランデール〉	58	マイハマの町
24	〈西風の旅団〉	61	オウウ
28	〈放蕩者の茶会〉	62	城塞都市モガミ
30	〈シルバーソード〉	63	自由都市イワフネ
34	〈海洋機構〉	64	ツクバの街
36	〈第8商店街〉	65	ウツルギ神前街
38	〈ロデリック商会〉	67	その他、所属不明
41	〈R A D I Oマーケット〉		
42	〈アメノマ〉		
43	〈ダンステリア〉		
44	〈ココアブラウン〉		
45	〈ブリガンティア〉		

69	アキバの街	77	その他 団体
70	水楓の乙女	78	神聖公国ウェストランデ
72	リングイネ	79	ミラルレイクの賢者
73	おにぎり屋えんむすび	80	供贊一族
74	ブルームホール	82	イズモ騎士団
75	アキバの住人	83	チョウシの町
		84	アーヴ高地の集落
		85	ススキノ
		86	サザンの街
		88	コユルギの街
		90	サフィールの街
		92	その他 セルデシア住人
		94	現実世界
		96	航界種



ご挨拶

ログ・ホライズンの用語集も気がつけば4冊目。手元にあるデータを集めてみたら、何故か人名だけでこの厚さになりました。

いつもは「なろう」版のデータをGoogle Docsでまとめて、事実ベースの人物表をつくりたり、TRPG版ログ・ホライズン用の「mamarepedia.com」なるサイトをまとめています。その反動が出たのか、今回はコメントや妄想をたっぷりもりこんでみました。嘘は無いはずですが、意図的に抜いた情報もあり「○○がのってない！」などはご容赦ください。

なお、この用語集は基本的には單行本だけを原本としています。そこに例外として、単行本公開時の作者のTwitterや公式サイトの一部情報を補足情報としていっています。設定Wikiは意図的に見ていませんし、自分でまとめたならう版情報も参考情報程度で、文庫で裏をとってから利用しています。そのため、設定上決定した情報が反映されていない可能性があります。

それでは、編者の偏向たっぷりでまとめられた用語集をどうぞお楽しみください。

銀雨 (Twitter: @sil verrin)

[各種関連書籍 略称]

なろう: 小説家になろう (橙乃ままれ)

HML: ログ・ホライズン外伝 Honey Moon Logs (松モトヤ)

西風: ログ・ホライズン～西風の旅団 (こゆき)

レシピ: ログ・ホライズンにゃん太班長・幸せのレシピ (草中)

ハラホラ: ログ・ホライズン(ハラ・カズヒロ)

アニメ: ログ・ホライズン(NHK)

LHZ: ログ・ホライズンTRPG/同・リプレイ



ぼうけんしゃ
〈冒険者〉

〈大災害〉により望まずにセルデシアに降り立つ。強大な戦闘力、復活する不死性、新奇な知識、異なる常識。それでも、〈大地人〉と対等であらんとする者は多い。

現代の世界各国の常識を抱えたまま、新しい常識を構築しなおして行くことになる。言葉がそのまま通じ、プレイヤー間でも不具合がないことから、すくなくともバベルの塔は無かったのだろう。話し合いの機会だけは常にあるのが、幸いである。



ログ ホライズン 記録の地平線

腹ぐろ眼鏡の謎ギルド

シロエが立ち上げたギルドであり、〈円卓会議〉11ギルドの一つとして活動している。

ギルドハウスは街の北側の境界に近い6階建てのビル。ゾーンとしては一般に解放されており、自由に訪問できる。秋葉原の北限は末広町駅をすぎたあたりと思われるので、実際の位置はジャンクパートエリアあたりか、蔵前橋通り付近のビルあたりと思われる。

一般的の〈冒険者〉から見ると、何を中心としているのかまったくもって謎のギルド。何か事を起こす際には〈三日月同盟〉とのコラボレーションが多いが、とくに職人型ギルドというわけではない。戦闘ギルドにしては新

人が多い。

ギルドマスターの悪評も手伝い、「鬼畜眼鏡が何かやらかすための拠点ギルド」と見えているのではないだろうか。あるいは友人のような強いハーレムギルドを目指していると噂されているのかも。

“腹ぐろ眼鏡”シロエ

いざれ貴女が理由を探すときのために、敵でいることにします。

付与術士

筆写師

ハーフアルヴ

ギルドマスター

〈円卓会議〉を成立させた立役者で、超ベテランプレイヤー。かつての〈放蕩者の茶会〉では参謀として名を馳せた。口伝〈契約術式〉の開発により、“東の外記”的名を得ることになる。アカツキとミノリから慕われており、鬼畜眼鏡、二股のロリコンなどと評判(?)が高い。得意技は「選択肢がひとつしかない提案をする」。

〈大災害〉後のレイドで死を体験するまでは、董星に示したように対人関係では一步踏みこむことを避けることが多かった。〈冒険者〉でも〈大地人〉でもない存在に気がつきつつある。

下準備と対応策の検討が大好き。戦略検討は目標さえ達成できれば道中は気にしないようで、正攻法も奇策も使いこなす。一方、戦術では凝った連携が多く、伏線大好きな職人型のプレイヤ

ーに見える。きっと、自家製攻略サイトには高難度の連携・コンボ集があり、日々仲間と遊びつつ練習していたのだろう。

冬の冷たいアスファルトに横たわる姿が開放イメージ。現実に可能な対処だけを次々行い目的を達成するので、敵にまわすと実に怖い。

アカツキ

……一人じゃできないんだ。だから助けて欲しい。助けて、ください。

暗殺者

追跡者

ヒューマン

水楓の乙女

〈大災害〉以前は寡黙な職人気質の〈暗殺者〉だったが、美少女の外見に戻り、シロエを主君と仰ぐ「忍び」となってからは、前衛役に身辺警固に恋愛にといそがしい。黒の衣装を好むが、長い黒髪に似合う和装も着こなす。得意技は(直継に対する)飛び膝蹴り。

身長150cm弱で、これは女性の平均身長としてはだいたい小学校6年生相当。体重も同程度

だとすると40kgを超えたくらい。おまけに、ギルドの他メンバーはいずれも平均身長以上で、対比しやすい直継に至っては183cmあり、後から加わった年少組のミノリとトウヤも160cmは超えている。イラストを見るとヒールも無いようだし、流石に20歳で「ちみっこ」と呼ばれてもしかたがない。

ソロとしての腕前は高くとも大規模戦闘の経験が無いために

最上級アイテムや技の引き出しが少なく、悩みの種となっていたが、対殺人鬼戦で水楓の乙女として貴重な友人を得て、装備の更新や口伝〈影遁〉を使えるようになった。

シャドウ・ラーク

直継

守護戦士 辺境巡回 ヒューマン

超ベテランの〈守護戦士〉で、おパンツ教の敬虔なる信徒。シロエとは〈放蕩者の茶会〉からの親友。身長183cmとの事だが、1巻や7巻のイラストでは180cm未満に見える。

信頼できる壁役であり、気遣いが頼もしいシロエの相方。シロエが苦悩する時は黙って側についてやり、戦闘においては気迫で後衛を守りきり、日常では後輩の面倒を見て狩りに指導にと活躍する好青年。〈奈落の参道〉のレイド戦では、第二パーティの盾役として物理的にも精神的にも絶対的な安心感を見せつけた。マリエルとは、深夜に念話を交わすなど順調に仲が進んでいる。

にゃん太

盗賊士 料理人 猫人族

二本のレイピアを使いいぶし銀の高レベル〈盗賊士〉。直継と同じく、シロエとは〈放蕩者の茶会〉からの知り合い。〈料理人〉としても秀でており、にゃん太の発見がシロエの〈円卓会議〉設立への原因となった。幅広い料理を嗜んでいることから、実際でもかなり料理が上手な様子。良い主夫になることだろう。

「猫のご隠居」「班長」「老師」など、様々な呼ばれ方をするあたりに人徳が伺える。セララからは吊り橋効果的な出逢いで慕われている。にゃん太としても真面目に考えている様子。語らないシロエの心情についてもかなりの部分を理解している、大人のいいネコ。レシピでは主役に抜擢された。

トウヤ

武士 会計士 ヒューマン

年少組その一。〈エルダー・テイル〉をはじめたばかりで〈大災害〉に巻きこまれた。現実では幼少時の交通事故で足が不自由だが、キャラクターとして特に不自由は無い様子。東京生まれの東京育ち。本名をそのままキャラクタ名にしている。珠算検定一級の実力者にして、バンドではドラム担当。

ミノリとは双子であり、姉の恋を応援している。本人は特に意中の相手もなく、まだまだレベル上げが楽しい様子。なにより、生活の範囲にいる女性は軒並誰かしらを慕っている。一方で、ダリエラ(濡羽)の芯を見通すなど、他の人々にはない視点を持つ。

直継を師とあおぎ、前衛としての心構えを学んでいる。

ミノリ

神祇官 見習い徒弟 ヒューマン

年少組その二。〈エルダー・テイル〉をはじめたばかりで〈大災害〉に巻きこまれた。トウヤとは双子であり、姉としての自覚の元で色々と心配している。シロエに似るロエ2をお姉ちゃんと慕う。

アブレンティス
サブ職業の〈見習い徒弟〉は、シロエ達により〈ハーメルン〉から救助された後で、〈裁縫師〉から変えたもの。将来はシロエと同じ〈筆写師〉を目指しているようだ。戦闘ではシロエを目標に、全力管制戦闘を学びつつある。最近は〈生産系ギルド連絡会〉のカラシンの元でバイト中。

シロエを慕っており、アカツキとは恋敵の関係。正面からの宣戦布告はまだしていない。

五十鈴

吟遊詩人

ヒューマン

年少組その三、体育会系の〈吟遊詩人〉。〈ハーメルン〉から救出された一人。ウッドベースが趣味の田舎の女子高生で、ガンダムおたくの兄の誘いにより〈エルダー・テイル〉をはじめた。

ルンデルハウス(ルディ)とは、飼い主とわんこの仲。毛並みが良くてお馬鹿なゴールデン・レトリバーとみなしているので、言動に遠慮がない。ギルドの黒板には「わんこの散歩っ」と書く。最近はしつけが行き届いたようである。

四十二曲しかないセルデシアに、意図せずに新しい曲と音楽の楽しさを持ちこむ。四十二音楽の事実を知り苦悩するが、仲間に支えられて四十三番目の歌を世界にもたらす。

ルンデルハウス＝コード

妖術師

冒険者

ヒューマン

大地人

年少組その四。仲間思いの血氣盛んな〈妖術師〉。ミノリ達のパーティにいたが実は〈大地人〉であり、シロエの“契約術式”により〈冒険者〉の能力を得た。西方の腐敗した貴族の三男坊。狭間の立場を生かして、〈大地人〉と〈冒険者〉の間をとりもどすとしている。

極度の努力家。〈大地人〉は経験値補正が無く、蘇生が無いために死のリスクが極端に高い。そのような状態において、〈冒険者〉による改革後のわずかな期間で、ミノリ達と並ぶほどにレベルを上げているのは凄い。

五十鈴とは飼い主とわんこの関係。彼の献身が報いられる日は来るであろうか。

てとら

施療神官

アイドル

ヒューマン

高レベルのヒーラーにして自称アイドル。うざい程の明るさで周囲を巻きこむ。〈ライトインディゴ〉から〈記録の地平線〉に移籍。元はカズ彦の手の者らしい描写がある。実は男の娘。

〈奈落の参道〉のレイドでは、重装甲ではなくあえて機動力重視の軽装で挑み、直継を盾にして駆け巡るなど、一流レイダーに負けない技量と精神力を見せつけた。得意技はレイド用回復技〈オーロラヒール〉。

目下の趣味は直継にからみついたり乗ることらしい。マリエールがどのように見るか、楽しみである。





三日月同盟

アットホームな太陽と月

元々は、小規模な冒険サポート系ギルド。シロエとの協働により〈円卓会議〉成立に貢献し、11ギルドの一つとなる。元は24名のギルドで、〈大災害〉後の人数は19名だったが、〈ハーメルン〉からの新人救出作戦により新人のメンバーが増えたことなどをあわせて、40名を越えるほどになった。

ギルドマスターは“アキバのひまわり”マリエール。会計のヘンリエッタとあわせて、太陽と月の美人祭りである。

〈軽食販売クレセントムーン〉で味のある食事を提供し、アキバ中の注目を一身に集めた。

普段はアットホームな雰囲気のギルドであり、各方面に好奇

心のままに手を出す。天秤祭では軽食店に蚤の市、衣料品と雑多に手を出し、ファッショニヨーにも参加した。戦闘要員もいるものの、90レベル代の人数は4人でありほとんどが中堅である。その後多少はレベルを上げたであろうが初心者を抱えこんだこともあり、中堅が多いのは変わらないと思われる。



“アキバのひまわり”マリエール

念話は一日一回、夕飯後の二十一時なんやもん。

施療神官

木工職人

エルフ

ギルドマスター

水楓の乙女

緑の豊かな髪に豊かな胸の関西弁姉御。大阪人気質で底抜けに明るい。そのはげましと笑顔は天然であり、周囲を強制的に応援する効果を持つ。彼女に微笑まれたら最後、死に物狂いで頑張ることになるのだ。ある意味で、魔性の女。

誰これかまわづ抱き付く癖があり、周囲の人間は軒並被害を受けている様子。〈大災害〉以前はPCキャラクタだから良かった

だろうが、現在は生身のため直継のようにあわてる者多数と思われる。相方のヘンリエッタがたしなめているようだが、一向に改善された様子はない。直継との仲が順調に進行中。

〈チョウシ防衛戦〉では、責任者として指揮を取りきった。パーティに入らずあえて遊軍としての辻ヒールを選択するなど、大規模戦闘の経験が無いなりに練達の動きをしていた。アキバ

の殺人鬼戦で水楓の乙女として初のレイドを体験する。

HMLによると、本名「坂本鞠絵」。

ヘンリエッタ

そう、年下なのですわ。あの真っ黒様は。まったく。

吟遊詩人

会計士

ヒューマン

水楓の乙女

蜂蜜色のウェーブした髪に、秘書風の装いのリムレス眼鏡美人。ギルドの財布を預る、マリエールの頼れる相方。本名、梅子。証券マンの父を持ち、経済学の修士を取り、大企業の会計をしていた。一度修羅場をくぐり金儲けのノウハウも得たことで、次回以降はマリエールが困れば容赦無く資金をかき集めると思われる。〈円卓会議〉でも仕事を抱えてしまい多忙なようだ。

可愛いものが大好きで、アカツキを抱き締めたり着替えさせたりするのが大好き。最近では水楓の館に日々通ってレイネシア姫のコーディネイトもひきうけている。一方で恋愛には淡白で、シロエの毒牙(?)をからくもかわしている。本人も遠くから見守る立場がお好みのようだ。

なろうと書籍版以降で服装が変わっており、元はフリルつきの服やゴシックロリータなどの

少女趣味な服を着ていた。それなりの背丈の眼鏡美女なので、絵的にギャップがありすぎて改変されたと推測される。とはいえ、カラシンとの交渉では、黒のリボンにモノトーンのドレスと少女趣味な姿を披露していたので、趣味が無いわけではないようだ。

セララ

森呪遣い　家政婦　ヒューマン　水楓の乙女

ススキノで〈ブリガンティア〉に襲われそうになっていた所を、にゃん太に助けられた少女。直継曰く、クラスで一番モテそうな娘。レベルは低いが回復役としての思い切りが良く、ミノリ達とのパーティでは呪文を重ねて回復したり、警報を設置したりと、魔法を臨機応変で柔軟に使っている。最近は召喚獣のウルフちゃんがお気にいりの様子。

にゃん太に惚れているが、〈三日月同盟〉内の縁もあるため移籍までは考えていない様子。ただ、頻繁にデートしていたりと、順調に仲は進展中のようだ。

回復役のいるパーティの安定感は、回復役抜きのパーティを組んだものにしかわからない。彼女の地道な支援があってこそである。

小竜

盗賊士　武侠　狼牙族

戦闘や狩りをとりまとめる戦闘班長。アニメによるとサブ職業は〈武侠〉。HMLによると、本名「章介」。マリエにぞっこん。

二本の直刀を操る黒髪の剣士。実力に反して何故か単独の見せ場が無い。ギルドが戦闘する時には真っ先に名前もあがるし、新人の救出作戦や〈チョウシ防衛戦〉で見せたように気風も実力も十分。だが、戦う必要が無かったり集団戦でのナイスフォローだったりと、いまいち強い見せ場が無い。そして、文化的な場面では出てくることが無い。HMLでようやく活躍が見られた。

大規模戦闘などの実力は不明。せいぜい、参加しても野良レイドまでと思われる。

飛燕

暗殺者　狐尾族

6巻で名前だけ登場。

HMLでは、弩使いの遠距離 билドの少年。いわゆる弓アサシンで、小竜とはケンカ仲間。活動的で色々な揉め事をひきおこしては明日架に怒られている。本名「円」。

ギーロフ

召喚術師　料理人　エルフ

ギルドの食事班長。8巻ではクリームシチューをリーゼにふるまう。

おそらく、セララ救出のパーティで味のある料理に目覚めたあとで、〈軽食販売クレセントムーン〉でひたすら料理を作り続ける羽目になったと思われる人。

HMLではエルフ耳で、後ろで髪を短く縛っている。アニメではギーロフの他に、ニンジンという弟がおり、背後で料理をしていた。職業情報はアニメによる。

明日架

神祇官
ヒューマン

ギルドでの役割はおうち世話係。出納関係を手伝っているようだ。
HMLでは〈神祇官〉服をまとう少女でアシュリンの保護者役。リリアナと一緒にいることが多い。長髪に花の髪留めがワンポイント。委員長的に、周囲を(男性相手は実力で)たしなめる。本名「飛鳥」。

アイゼル

妖術師
ハーフアルヴ

ギルドの買い出し係。青い髪ののっぽの〈妖術師〉。彼があと一人いるはずの〈三日月同盟〉に4人いる90レベルなのだろうか?
HMLでは落ちついた感じの青年。前髪がひとつだけ色が違う。本名「圭一郎」。

ナナミ

〈三日月同盟〉にいる幼い少女。皆に愛されつつ健やかにすごしている。

来た当時は、可愛いもの好きのヘンリエッタの着替えの餌食になった。その数なんと30着以上。一応その後は自制して止めているらしい。飛燕についており、スマックとゴム長で玄関で踊ったらしい。

詳細はHMLを参照。元魔棄児の、〈大地人〉で、福引券を配っていた。

長身の女性

セララ救出のパーティで、「小さくて可愛ゆい」とアカツキを背後から抱きしめた。(2巻P82)

若い魔術師

にゃん太がもたらした、味のある食事に感激して「餌と食事は違うんス!」と力説した。(2巻P77)
もしかして: アイゼル

鍛冶屋の子

天秤祭の「のみの市」で短剣を売りだした。(5巻P26)

D. D. D



狂戦士のつくりあげた自立組織体

大規模戦闘に特化したアキバ最大の戦闘ギルド。ギルドマスターは“狂戦士”クラスティ。〈円卓会議〉11ギルドの一つ。黒剣騎士団と違いレベル制限は行っていないが、ゲーム時は常に大規模戦闘の先陣争いを行っているため、練達の猛者が揃っていると思われる。7巻時点では総勢1700人。

東の討伐軍では、遠征総指揮がクラスティであるため、遠征軍先行部隊の半数が同ギルドのメンバーであった。クラスティが驚異的な素早さで大規模編成を行えたのも、見知ったメンバーへの理解と信頼がベースにあったのだろう。

それなりに歴史もありそうなギルドであり、言及こそないものの〈放蕩者の茶会〉とも何度も争奪戦を行い、勝ったり負けたりとしていると思われる。狂戦士の目に、彼女達はどのような集団に見えていたのであろうか。

クラスティが考えた人材交流システムが元。自律的な組織運営がコンセプトで、内部組織の独立性が高く風通しが良い。そのため、ギルドマスター不在でもある程度持ちこたえている。

“狂戦士”クラスティ

困りましたね。退屈です。 たくさん我慢して今日を迎えるんですよ。

守護戦士

狂戦士

ヒューマン

ギルドマスター

エルダー・テイルのプレイヤー中でも有数の大規模戦闘指揮官。自らのギルドを率いて、数々の大規模戦闘を楽しむ。アキバの街〈円卓会議〉代表。実質的には合議制だが、外部に対しては彼がアキバの街で一番偉い人となる。

普段は眼鏡の理知的な青年に見えつつ、戦闘では狂戦士の名の通り、攻撃的なビルドで、大斧をふるう殺戮こそを楽しんで

いる。平然と戦闘指揮をしつつ前線戦闘を行うので、そのあたりが余計に見た人物から狂戦士と恐れられる理由であろう。

レイネシア姫と好い仲で、姫がアキバの街に赴任後は、〈大地人〉と〈冒険者〉の間のさりげない難題を投げつけている様子。

メイドのエリッサにも応援されているようで、今後の進展が楽しみである。なんでも姫の態度が妹に似ていらしい。つまりは、

シスコンということなのだろうか？

ゴブリン封鎖の遠征で、歪みにより行方不明になる。アニメでは鬼畜眼鏡として眼鏡が光りまくっていた。

高山三佐

退屈ですか？ 我慢してください。

吟遊詩人

狼牙族

短い黒髪に鋭い目付き。クールな軍人といった風情で、普段はギルド運営補佐、戦場では戦場哨戒班を率いる女傑。〈Drei-Klauen〉の一人。

名前の三佐は階級ではなく名前らしい。もっとも、雰囲気からわかった上でなお三佐と呼ぶ人も多そう。現実ではあの性格のまま保育士をしているそうで、カリスマ軍曹保母として子供からの人気は抜群らしい。さぞや

しつけが行き届いた風景なのだろう。

災厄の名を持つカマを持ち、クラスティが巻きこまれることになった。

実は文庫化でさりげなく出番が増えている。元は、〈エターナルアイスの古宮廷〉でクラスティに同行したのはリーゼだったが、高山女史に変更。しばらく出てこなかったキャラクタなので、わかりやすくしたものだと

リーゼ

妖術師 ハーフアルヴ 水楓の乙女

ギルドの教導隊隊長。〈Drei=Klauen〉の一人。サフランブロンドの巻髪のお嬢様然とした少女だが、たまに地が出てしまう。ギルドメンバーをお子様達と言う発言から、戦闘狂のメンバー達にいつも苦労させられているようだ。教導隊として日々の訓練で団員達をキツくしごいているのだろう。

東京の清瀬の生まれで、周囲には優等生を演じていたが、クラスティに思いあがりを碎かれた過去があるらしい。その結果、「ミロード」と呼んで慕っている傍ら、レイネシアの元に通い護衛もする。

水楓の乙女として、レイネシアなど貴重な友人を手に入れた。クラスティ行方不明の後は組織運営に駆けまわって苦労中。

リチョウ

資材管理部を率いている。アキバ遠征軍では、斥候班を担当した。

クーゲル

アキバ遠征軍で、斥候班を担当した。(7巻
P202)

組織図上の人々

- ユミカ
●ユズコ
●狐猿

「ログホラまめちしき」

◆にやん太の容姿は、なろうでは「銀色の房が混じった黒髪」。書籍では「銀色のふさふさとした三角の耳」。実はさりげなく容姿チェンジしているのです。

◆2巻P109でシロエがにゃん太に約束した縁側。ところが、5巻付属の図面にあるギルドハウスを探すと、そんな場所はない。かわりに、一番目当たりの良い部屋となったようだ。

◆トロウル トロル ゴブリン
◆灰色大鬼と緑灰鬼と緑小鬼の差がよくわかりません。1巻の中でたった10ページ違うだけなのに……。(1巻P41,P51)

ホネスティ

出番がないことが、逆に不気味なギルド

〈ホネスティ〉はアキバを代表する戦闘3ギルドの一つである。ギルドマスターは“先生”AINス。〈円卓会議〉11ギルドの一つとして活動、派手な動きはしていないが、〈円卓会議〉の各種事務処理を引きうけている。その他、〈入れ替え転移〉を使って、どこに飛ぶかわからない〈妖精の環〉の探索を実施しているよ

うだ。

物語中では〈D. D. D〉や〈黒剣騎士団〉に比べて影が薄く、一般の団員も特に出てこない。知識の共有主義など、いかにもシロエと気が合いそうなのだが、案外〈記録の地平線〉が色々やりすぎているのでキャラが被ってしまい、出番が少なくなっているのかもしれない。

“先生”AINス

神祇官
学者
ギルドマスター

中年のギルドマスター。知識の共有主義を掲げて、過去には攻略サイトを立ち上げたり、大手戦闘ギルドと一緒にあつたりもしたらしい。〈神祇官〉という職業や二つ名からも、落ちついた性格が推測できる。事務処理など〈円卓会議〉を裏側からサポートしているようだ。

でも、中年。流石にゲームによる美形補正があるため、お腹が出ていたり脂ぎったりしているわけではないだろうし、髪も長く丹精に見える。

捕縛巡視隊

アキバの殺人鬼に対抗したようだが、事件から六日目に全滅した。

アニメでは、はるはる、吉介、クールジェット、TOSHIの四人組。(6巻P49)



黒剣騎士団

エリート主義の脳筋集団

大規模戦闘に特化したアキバ有数の戦闘ギルド。大将は“黒剣”アイザック。極端なエリート主義というか、ハードコアゲーマー以外お断りであり、レベル90が上限だった時期なのに85以下は入会を受けつけない程である。少人数ではあるが、精銳のみに特化している。〈円卓会議〉11ギルドの一つ。

大将の性格を反映してか、メンバーのガラはあまり良くないようだ。ただ、〈シルバーソード〉とは違い街は街で住み良いにこしたことはないと考えているようで、治安維持のための巡回なども積極的に行っている。これは、戦闘のためには補給源こそが大事であると考えてやつ

ているのかどうか、そのあたりを実に感覚的にやっていそうなのがこのギルドである。

〈大災害〉直後は〈ハーメルン〉から〈EXP ポット〉を購入することで、レベル91を目指そうとしていた。〈円卓会議〉成立後は、天秤祭で自主的に街の治安維持を行ったり、〈大地人〉騎士団の育成や、各種戦闘への人材派遣など、地道に活躍している様子である。

“黒剣”アイザック

てかくんづけすんなこら。

守護戦士

剣闘士

ヒューマン

ギルドマスター

アキバ有数のハードコアゲーマー。大規模戦闘が大好きで、レベルカンスト限定のギルドを率いて、新しいクエストの先陣争いをしていた。〈円卓会議〉の一員ではあるが、書類仕事は苦手でレザリックに頼りきりのようだ。

ヤンキーで豪放磊落な言動から脳筋かと思われがちだが、それで大規模戦闘特化ギルドの大将が勤まるわけはない。以前の

戦闘を分析し、対応を検討できなければ攻略が進められない。よって、考える脳筋であることは確実であろう。ただ、メンバーとの会話を見るに、とりあえず勢いで考えてそうなあたりは実にヤンキーのヘッドらしい。クラスティと違いこの見た目に法兰クなあたりが、エリート主義でありながら嫌味のないギルドの特徴になっているのだろう。

異名の元となった幻想級武器のソード・オブ・ペインブラックを持つだけでなく、何かと黒を誇示している。「男は黒に染まれ」「闇が光に打ち勝つ季節 黒騎士が再降臨する」というメンズナックル的な格言に従っているのかもしれない。

レザリック

アイザックくんはこう見えて楽しみにしてます。

施療神官

厳めしい顔をした男性。ギルドの倉庫管理人。

夏季合宿では〈ラグランダの杜〉の引率を勤めていた。その後、〈チョウシ防衛戦〉で遊撃を行い直継やにゃん太、小竜と共に遊撃や海岸線の防衛に活躍する。

天秤祭のイラストで、アイザックの背後で高山三佐と挨拶しているのも、おそらく彼と思われる。いかにも、大将が豪快な

分、フォローに気苦労が耐えなさそうな役割の顔をしている。実際、ギルドの資料整理のほとんどをやっているらしい。確かに、アイザックには向いていなさそうだ。「アイザックくん」という呼び方がチャームポイント。

アニメではフードがなくなり、髪が全部見えている。

妖術師

妖術師

天秤祭で、ぶつぶつ言いつつ氷を作っていた。



巡回3班の3人

天秤祭で、街の警邏をしていた3人。



組織団上の人

- ドン・マスディ
- フリード
- ユーミル
- パウルス
- 亜俱式
- ゼッカ=イーグル



loggoharamemochisiki

◆〈シルバーソード〉のウイリアム=マサチューセッツ、1巻当時はサーベルにマント姿の〈暗殺者〉でした(P233)が、後で出た時は完全に弓アサシン(アニメも同様)。いったいサーベルはどこにいったのか?

◆8巻では〈第8商店街〉が〈第八商店街〉になっています。同様に、〈Drei-Klauen〉も〈Drei=Klauen〉に。正式名称はどちらなのでしょう。

◆〈暗殺者〉の装備に「鞭」があるけど、鞭アサシンって何をするのでしょうか。クラウドコントロールでもできるようになるのかな? 鞭アサ/〈調教師〉以外の活用が思いつかびません。



グランデール

小規模ギルド代表

比較的小規模の生産ギルド。小中規模ギルドの代表として〈円卓会議〉に参加し、11ギルドの一つとして活動している。ギルドマスターは“キャノンボール”ウッドストック=W。

消耗品の短期売買では三大生産系ギルドよりも稼げる実力がある。初心者への啓蒙活動を行うなど、〈大災害〉後のアキバと

の相性は良さそうだ。

かつて中小ギルド連合を作ろうとして、各々のエゴにより瓦解した経験がある。

“キャノンボール”ウッドストック=W

お前、それが脅迫じゃなきゃなんだってんだ!?

暗殺者

調教師

ドワーフ

ギルドマスター

元〈黒剣騎士団〉メンバーで、レベル制限によるエリート主義に嫌気がさして独立した硬骨漢。

他の生産系ギルドのギルドマスターに比べて、やけにサブ職業の異質さが目立つ。LHZによるとワイバーン乗りとしても有名。飛竜爺とは彼の事だろう。

ギルドの公式サイトをつくるなど、知名度は高いらしい。商売に向いていない職業選択とあわせて、相場の値踏みや政治レ

イヤでの立ちまわりが得意と思われる。中小ギルド連合の話も彼の動きが大きかった想像する。



西風の旅団

レイドに長けた、戦闘特化ハーレム

ソウジロウ率いるハーレムギルドにして、アキバ有数の功績を誇る大規模戦闘攻略ギルド。普通、大規模戦闘は大人数を抱えているギルドが有利と考えられる。そのような中で、比較的少人数で大規模ギルドと先陣争いを張り合う実力を持つギルドである。〈円卓会議〉11ギルドの一つ。

元々は〈放蕩者の茶会〉の後に残った数人ではじめたギルドであり、そういう意味ではハーレムギルドとしての性格が先であったのだろう。そこから大規模戦闘に参加するまでに鍛えあげたという事実一つをもってしても、ギルドの統制と育成を行うギルドマスターの手腕はすば

まじいものであると判断できる。アキバの対殺人鬼戦では、戦闘狂的一面が発揮された。

比較的人数が少ないということと、ソウジロウへの敬慕のため、統制は非常に取れている…というか、親衛隊(非公認組織SFC)と称してギルド外にまで統制がとれている位だ。ギルドには一応男性もいる様子だが、肩身の狭さが思いやられる。

“剣聖”ソウジロウ=セタ

目標は身内を切った輩だ——切り捨てろ

武士

剣聖

ヒューマン

ギルドマスター

ハーレム体質のバトルジャンキー。外伝の西風では主役。〈西風の旅団〉は女性がほとんどを占めるが、その原因は間違いなくギルドマスターのハーレム体质にある。

元は〈放蕩者の茶会〉で前衛を勤めていた。当時の女性陣によると、穏やかで優しいし、紳士的で、戦闘で頼りになり、そそかしくて不器用で庇護欲をそぞる部分が良いらしい。

親衛隊が結成されており、階級として側居役から新入隊員に至るまで強固に組織され、ギルドの内外を問わない人員規模を誇っている。

天秤祭では参謀シロエの指揮の元でアキバの混乱を抑える役割をない、アキバの対殺人鬼戦ではギルドの一員が被害にあったことから討伐を決意し戦闘狂的一面を見せた。防御のための口伝〈天眼通〉を持つ。

ナズナ

大好きだけどね。もちろんむちゃくちゃ大好きだけど。

神祇官

賭博師

狐尾族

水楓の乙女

〈放蕩者の茶会〉出身の美女ヒーラーで、ソウジロウの恋人の一人。狐耳の嫋娜っぽい着込みをしたグラマラスな長身の女性。元の世界での職業は歯科医助手。

サブギルドマスターと親衛隊のトップとして、弟のように「ソウジ」を可愛がっている。他のメンバーも家族として認識しており、意図してか姉さん的なふるまいをする事が多いようだ。

ただし、女性故に根本的なと

ころでソウジロウの行動に影響を与えることはできないのを、はがゆく思っている。影響を与えるのがシロエやカズ彦ということは、〈彼女〉でもきっと駄目だったのだろう。

〈禊ぎの障壁〉のちょっとした応用で空中に足場を作る口伝〈天足通〉を持つ。名前がソウジロウの〈天眼通〉とペアなのがナズナらしい。他のメンバーもそのうち各々の〈天●通〉を見

出すのだろう。

キョウコ

守護戦士

水楓の乙女

天秤祭でソウジロウの親衛隊として登場。殺人鬼の被害者として、西風の旅団による殺人鬼討伐のきっかけとなる。

その後、水楓の乙女として対殺人鬼戦に参加。文字通りの意味でリーゼを支える。

カワラ

武闘家

水楓の乙女

対殺人鬼戦では、ソウジロウのパーティの第二前衛として戦い、大きな傷を受けた。

その後、水楓の乙女の遊撃役として参加し、見事アカツキのいる戦線を支えた。

西風でも単純明快な意見で場をなごませていた。

フレグラント・オリーブ

森呪遣い

エルフ

天秤祭でソウジロウの親衛隊として登場。エルフ・カジュアル（エルカジ）ファッショニズムの子。ソウジロウの行動で鼻血を吹きながらくるくる回って倒れる担当らしい。ソウジロウと共に殺人鬼戦に参加。

西風では、ソウジロウの応援としてかけつけておいて、そのまま放置されていた。

ドルチェ

吟遊詩人

執行部事務班。アニメ設定ではキツネの襟巻を見につけていた。

西風では、女子力の高さを見せつけたり、クレセントバーガーを食べて目から光を出すなど、随所で大活躍している。

レシピでも、美味なこだわりカレーを作り、女子力の高さを見せつけていた。

チカ

盜賊士
海賊

天秤祭でソウジロウの親衛隊として登場。ソウジロウの腕にぶらさがれる程小柄。通称「チカちゃん」。ダブルトマホークを背中にぶら下げている。

西風ではバニーやメイド、ナースといったコスプレ衣装を調達していた。

サンディ

法儀族

天秤祭でソウジロウの親衛隊として登場。タヌ耳パーカーがポイント。神官ローブにルーズソックスと新境地を開いているらしい。

西風でも基本的にフードがある衣装を着こなしており、目が見えない。

ひさこ

召喚術師

執行部生活班。

アニメでは、眠そうな目で描かれ、語尾がいつも「…」になるとされている。水楓の乙女としても参加を確認。

西風では小犬の多重召喚により、埋設された罠を発見する機転を見せていた。

紗姫

〈放蕩者の茶会〉出身。〈大災害〉の時にログインしていなかったため、現在はいない。

女性〈施療神官〉

施療神官

ソウジロウの言に、腹からの声で殺人鬼誅伐の決意を叫んだ。(6巻P77)

施療神官

施療神官
水楓の乙女

遊撃役として、アカツキの戦線を支えた。(6巻P280)



◆ログホラまめちしき

◆イサミ(武士/会計士)がいないことに気がついたんだろうか。実は、彼女は西風初出のキャラであり、アニメには出ても本編には登場していない。くりのんや〈大地人〉のサラなども同様。

◆〈ハーメルン〉のメンバーはメディアによりかなりの変更がある。西風ではマグスと関わるコーヴとパッシャータが目立っているが、アニメではそれ違う運命、神への冒涙など、厨二病に溢れたネーミングの面々となっている。

◆7巻で出た幻想級という、いかにも実際に使われていてそうな良い略称。残念ながらアニメでは普通に「げんそうきゅう」と発音されていた。



デボーチェリ○ティーパーティ 放蕩者の茶会

世界をまたにかけた、伝説のギルド



存在したわずか二年間の間で、数々の伝説を残したギルド。正確にはギルドではなく、たまたまそこにいたプレイヤー達が仲間として気持ち良く冒險していくだけの集団。よって、ギルドマスターは存在しない。一応のリーダーっぽいものはカナミ。実世界でのメンバーの環境の変化などにより、自然消滅した。

対外的に見れば、少人数で大規模戦闘に介入し、伝説的なクエストや大遠征を成し遂げた、おそらくまでの職能集団。参謀として動くことの多かったシロエによると失敗も多数だったらしいが、元メンバーたちの(冒險の副産物としての)アイテムや技能の充実ぶりを見るに、成功の方も大したものである。

シロエや直継、にゃん太、ソウジロウ、ナズナなどはここの出身であり、自然消滅を嫌ったソウジロウが作ったギルドが〈西風の旅団〉である。



カナミ

——やっぱ冒険っていうのは初体験って訳よ。もうね、どきどきわくわくでガクブルジョーっ

盗剣士

ギルドマスター？

序盤は〈彼女〉と称されていた、〈放蕩者の茶会〉の中心にいた人物。わがままでシロエや他メンバーをさんざんふりまわし、「Easy going」という教えを残した。茶会が海外の大規模戦闘にまで参加しているのは、大体この人のせい。職業はアニメ設定から。

かつて公式サイトにあった海外編で登場しているが、別アカウントであり、職業も元とは違

うようだ。詳細は9巻待て！

詠

かつて、ナズナと二人がかりでソウジロウの素晴しさについてシロエに語つたことがある。

ぬるかん

レイドに奇声をあげて突撃する人、らしい。(7巻P84)

トウリ

ぬるかんとあわせて、レイドに奇声をあげて突撃する人、らしい。(7巻P84)

アイヒエ

名前だけ出てきた茶会メンバー。(7巻P258)

loggホラまめちしき

◆3巻P77のヘンリエッタのイラストは眼鏡をかけている。だがしかし、P71の踊る前の描写では眼鏡を外していると言及されているのであった。おそらく、先生モード用に自動召喚されたのだろう。

◆ミノリは、公式の2011年11月のアイテム募集ページで「43歳」と書かれたことがある。トウヤが実はミノリの息子で、確かにゲーム中にお母さんとは呼ばせられないから名前の方で呼ばれるに違いない、ネットゲームにハマ

った専業主婦だ、などと盛り上がったものの、すぐに修正された。

◆水楓の乙女のレイド戦、アニメではセイネが混じったりと人員が増強されているが、一方でラーニャがこっそり消えてしまっている。

シルバーソード



最高のレイドを求める者たち

アキバを代表する戦闘ギルドの一つ。ギルドマスターはウィリアム=マサチューセッツ。最高難易度の大規模戦闘攻略をモットーとする。

〈円卓会議〉成立の会議に招待されてはいたが、街はあくまで補給ポイントであり自治に興味はないとして、序盤に離脱を宣言。ススキノに移動して、街を占拠していたデミクアス達を力でねじ伏せた。北方の巨人相手に奮戦するなど、なんだかんだいいつつ街の安定に寄与している。

〈大災害〉後の死亡を乗り越えたメンバーで、シロエの〈奈落の参道〉攻略に参加。ボスの複数参戦という事態を乗り越え、攻略を完了させた。

何故か誰もいなくても〈砲撃師〉の〈ロックオンサイト〉が使える。(7巻P172)



“ミスリル・アイズ” ウイリアム＝マサチューセッツ

なんてすげえんだろう！ すげえなあ！ 俺の友だちは、すげえ奴らだなあ！

暗殺者

狩人

エルフ

ギルドマスター

〈シルバーソード〉の若きリーダー。見た目はエルフの若君といったところ。〈円卓会議〉成立の会議ではいち早く離脱を宣言した。

大規模戦闘が大好きで、高校生としての生活を傾けてまでエルダー・テイルに入れこんでいた。大規模化戦闘では、サーバルをしまい弓アサシンとして、指示の傍らで幻想級の矢を惜しみなく使い潰す。

〈奈落の参道〉では彼の慟哭こそがクライマックス。間違いなく7巻の主役は裏表紙にいる彼である。

〈放蕩者の茶会〉にあこがれ、自分のギルドを作りあげた。シロエのこともアキバの街を作りあげたレイド指揮官として強く尊敬しているようだ。



ディンクロン

あの人なんかやったらしいな

守護戦士

騎士

エルフ

ギルド全体のメイン盾。なろう連載時の初出は「ブロンズブロック」という名前だった。黒剣騎士団のアイザックにも互する、サーバーでもトップクラスの盾役。

シルバーソードによる大規模戦闘は、彼が二人のヒーラーと〈召喚術師〉、〈吟遊詩人〉によるフル援護を受けて、ボスのヘイトを保ち、攻撃を受けとめ、跳ね返し、大技を耐えきることが

全ての前提となっているのだろう。指揮命令はウイリアムだが、ギルド全体の基底音を奏でているのは、まちがいなく彼である。



浮世

- 施療神官
- メイド
- エルフ

メインヒーラーの片割れ。エプロンドレス姿の女性エルフ。第一パーティはメイン盾のディンクロンを支えることが第一のため、重厚なヒールワークを敷いているようだ。

東湖

- 神祇官
- 符術師
- エルフ

メインヒーラーのもう片方。ディンクロンの最初の盾は彼の障壁であり、抜けたダメージは浮世の反応起動回復が受けもつのだろう。符術で障壁の底上げなどもしていると思われる。

アザレア

- 召喚術師
- 裁縫師
- エルフ

戦闘前に〈幻獣憑依〉を用いて戦場を偵察するなど、多彩な引き出しを持つ〈召喚術師〉。〈ファンタズマルヒール〉が得意で、補助の回復としても動くようだ。裁縫はギルドメンバーの装備の補修などに役立てるためのものなのだろう。

ハイランズスカイ

- 盗剣士
- カースブレイド
- 狼牙族

第一パーティの武器攻撃職。イラストから、片手斧を得意としているようだ。

えんかーたんと

- 吟遊詩人
- 鍊金術師
- 猫人族

でっぷりとした、拌むと御利益の出そうな猫人族。背中に太鼓を背負っているように見えるが、まさかそれで演奏しているのだろうか。

ヴォイネン

- 森呪遣い
- バイキング
- ドワーフ

前線で突出するデミクアスに散々苦労させられた人。なろう連載時の初出は「ルギウス」という名前だった。

素人料理ながら、ギルドの食事担当でもあるらしい。バイキングに料理技能があるのだろうか。〈生命のセコイア〉による起死回生の一手法はお見事。

フェデリコ

- 盗剣士
- 料理人
- 狐尾族

シロエのパーティで打撃を担当した人。デミクアスが突出するので苦労が絶えなさそう。獲物は炎刃剣。新米社会人だったらしい。〈料理人〉だが、何故ヴァイネンが料理担当なのだろう。

順三

- 武士
- 決闘者
- 狼牙族

火力パーティのおさえ。シロエの指示により、突撃してカイティングをしようとしたところ、デミクアスに邪魔される。

オーディソ

- 森呪遣い
- ルーンナイト
- 法儀族

火力パーティの支え。〈奈落の参道〉攻略後、細いロッドをバスガイドの旗のように動かし、アルラウネで水を配った。

ボロネーゼ親方

- 暗殺者
- 料理人
- 猫人族

火力パーティの〈暗殺者〉であり、レイド中最もダメージを期待される人。猫人族の〈料理人〉ということで、にゃん太と被る属性持ち。

細雪

- 召喚師
- 祈り手
- 人間

可愛いカーバンクルの首根っこをつかんで、鋼のような断固とした声で、ボスの必殺技からのカウントをした。やつてみればわかるが、10秒数えるのすら意外にずれやすい。重要な技能持ちである。

ピアニッシシモ

- 吟遊詩人
- 鍛冶屋
- エルフ

妙にシが多い人。火力パーティなので、本人のダメージよりも、歌によるダメージの底上げを目的としたビルトと思われる。

羅喉丸

- 武士
- 復讐者
- 狼牙族

火力パーティの一人。サブ職業も含めて火力の底上げをしていると思われる。イラストでは身の丈ほどもある大刀を持っている。

中居 河太郎

- 神祇官
- 木工職人
- ヒューマン

火力パーティの回復役。木工職人は、矢弾の補充などに利用するためなのだろう。

エルテンディスカ

- 暗殺者
- 調剤師
- エルフ

火力担当。調剤師はやはりレイドの補充に使うためなのだろう。

ポロロッカ

- 妖術師
- 鎧職人
- エルフ

鎧職人と、見るからにレイドの補充用のサブ職業。それにしてもこのギルドはエルフが多い。

プロメシュース

- 妖術師
- 斥候
- エルフ

アニメによると、ギルドの参謀役を勤めている。衣服は、身体のラインが出るピチピチのレオタード。

軟体系@アキバ

- 吟遊詩人
- 筆者師
- ハーフアルヴ

攻撃職二人分の役割をはたすと言われている、パーティの要。前髪が特徴の、恰幅の良い指揮者といった風体。



アキバで最大、つまり世界でも有数の豪商

ヤマトサーバ最大の生産特化ギルド。総支配人は“豪腕”ミチタカ。〈円卓会議〉11ギルドの一つとして活動している。

各部門ごとに本拠地を持ち活動している。総支配人という名称から、下部には各支配人がつき、各々の持ち場を管轄していると考えられる。寄り合い所帯の〈第8商店街〉と違い、組織構造はしっかりとといそうだ。

基本的に商売人というよりは工房の性格が強いとの事だが、〈大災害〉後は人数も増え、名実共にアキバの流通基幹を一手に握っているといって良いだろう。

〈円卓会議〉成立の際には、〈ロデリック商会〉〈第8商店街〉と共に〈三日月同盟〉に資金を

供出。開示された知識に基いて試作型蒸気機関を作成し、メニューを使わないアイテム制作の可能性を確認した。その後二ヶ月で試作型蒸気機関搭載輸送船〈オキュペー〉を作成。〈大地人〉の交流などもあることから、他にも各方面で様々な商品や試作品をためこんでいると推測される。

“豪腕”ミチタカ

つか、俺は鍛冶屋だったんだがなあ…

武闘家

鍛冶師

ヒューマン

ギルドマスター

ヤマトサーバ最大の生産ギルド〈海洋機構〉の総支配人。大男で豪快な性格。本人曰く本職はあくまで〈鍛冶師〉であり、毎日ハンマーを握っていることを尊ぶ。カラシンやシロエと比べるに、それだけ雑事を任せられる優秀なスタッフが揃っているということなのだろう。

〈エターナルアイスの古宮廷〉では第一副使として参加。途中から意図してタカ派としてふる

まったく、キリヴァ侯の愚行に激発してしまう。レイネシア姫のアキバ行きでは一人宮廷に残り領主達を戦々恐々とさせたが、最終的にはセルジアッド侯爵との会談により、同盟の基本ラインについて合意した。

途中かなり愚痴もこぼしていくが、なんだかんだと言ってやりとげてしまう。その後も地味に活躍しており、さすが実世界でも主任クラスのサラリーマン、

実に大人なプレイヤーである。

カーユ

武士

ヒューマン

〈エターナルアイスの古宮廷〉でミチタカの隨行を勤めた青年。ミチタカの事を「総長」と呼んでいるので、やはり各支部ごとになんらかの「長」がいるのだろう。組織図にはいないので、個人的副官のようなものだと思われる。

今は必要がないが、将来自動徴収される税金以外にもギルドごとの決算報告を出すような事態になった場合、連結決算の数字のとりまとめに一番泣く役割の一人だろう。

その意味では、各種建物の利用税や支払いがあった時は大変だったと思われる。その他にも、金銭の授受が多数発生している〈円卓会議〉の予算システムがどうなっているのか、興味深いところである。きっとシロエやヘンリエッタが鬼のような決算をするのであろう。

組織図上の人

- トモコ
- ワグティル
- 田中山田
- ジュボック
- †匠ユ一之進†
- 金国
- 五郎入道
- アマ☆デウス
- イダンテ
- マッコイ
- アムンゼン
- 三代目上原
- ヨーコヤギ
- ましゅまろ
- 月夜姫



第8商店街

市場への上場で名前をかえた？

生産特化の職人ギルド。ギルドマスターは“若旦那”カラシン。〈円卓会議〉11ギルドの一つとして活動している。生産ギルドとしては三番目の規模だが、〈ロデリック商会〉の販売を受けおっており、商売をしたい個人商店が日々集っているため、事実上商売では二位の規模を誇る。

元々はチャットを楽しむためのチャットギルドであり、商売はその副産物。そのため、他の生産ギルドほど方向性を特化しておらず、業務の分割というよりは、小さな商人の寄り集まりとして機能している。日用品からちょっとした便利品まで、商品の流動性が高いのが特徴なのだろう。

周囲のギルドとの連携も得手らしく、〈軽食販売クレセントムーン〉では食材調達の仕組みを組みあげ、安定供給を成し遂げた。他にも、屋台村や商店街モールを作るなど、商業施設の拡大にも余念がないようだ。将来的にはイオンモールでも目指すのだろうか。

何故か最新刊では〈第八商店街〉になっている。

“若旦那”カラシン

いやー、こういうのはなんだけど、ミノリちゃん、うちにくれません?

召喚術師

交易商人

ヒューマン

ギルドマスター

アキバの生産を司る大規模生産ギルドの一つである〈第8商店街〉のギルドマスター。ハシバミ色の髪と瞳。広告代理店に勤めているらしく、人付き合いに長けた好人物。

生産ギルドの面々の中では一番活躍しており、〈軽食販売クレスントムーン〉の時にはマリエルの顔馴染みとして食材を調達。天秤祭では〈生産系ギルド連絡会〉で多量の事務に埋もれ

ていた。

他の生産ギルドに任せてもいいところをわざわざ事務処理をしていたのは、他のギルドよりも統制がとりにくく小売り中心のため、連絡会込みで仕事したほうが上手くまわると判断したからなのだろう。案の定、その後も〈生産系ギルド連絡会〉でミノリを助手にして、仕事に埋もれているようだ。

タロ

- 森呪遣い
- 見習い徒弟
- 狼牙族

〈生産系ギルド連絡会〉でのカラシンのアシスタント。天秤祭の書類雪崩に巻き込まれた後、カラシンに濃いお茶をいれる。アニメでケモ姿と判明。

ミノリやトウヤの参戦後も継続してアシスタントをしていたと考えられる。カラシンのような超絶的な処理能力があるわけでもなさそうであり、消耗戦に巻きこまれる一方だった彼にとって、ミノリの参戦はまさに女神に見えたことであろう。その後、バイトとしてミノリが伝うようになったが、先輩として立派にやつていけているのだろうか。

†孔明†

〈生産系ギルド連絡会〉がらみでカラシンから連絡を受ける人物。名前だけのため委細不明。他ギルドの所属の可能性もある。

「†(短剣符/ダガー)」をどう発音しているのか、非常に気になる。なお、この記号自体はネットゲームではしばしば命名に使われる。大抵は名前が重複登録できないため、よくある名前や有名なキャラクタをもじった名前は争奪戦になる。そのための回避技。

職人

天秤祭で〈生産系ギルド連絡会〉にこもり作業をしていた。ミノリの顔見知りらしい。徹夜でハイになり大声を出しているあたり、片隅を使って何か作っていたのだろうか。とりあえず、書類仕事はしていなさそうである。



ロデリック商会

マッドサイエンティスト達の楽園

アキバ第二位の生産ギルドであり、構成員は公称1800名。ギルドマスターは“妖精薬師”ロデリック。〈円卓会議〉11ギルドの一つとして活動している。

安定供給する工房の〈海洋機構〉、薄利多売の小売りの第8商店街に対して、〈ロデリック商会〉の特徴はレシピの図書館を目指しての研究と、高級指向の薬師。幻想級のレシピや高難易度の生産に定評があった所に加えて、「手で作る」手法による研究成果の新薬品の販売なども始めており、ポーションやマジックジェムの販売では飛び抜けている。

名前こそ商会だが、近年は〈第8商店街〉などに販売を委託、

組織一丸となって研究体制に特化している。外観再決定ポーションの量産にも成功しており、内部では〈ロデリック研究会〉、略して〈ロデ研〉と呼ぶメンバーも多い。名実共に、アキバの開発・研究機関であり、シロエからの難問も多数持ちこまれているようだ。

“妖精薬師”ロデリック

〈大災害〉は終わっていない

召喚術師

調剤師

法儀族

▽ギルドマスター

学者肌の青年で、眼鏡男子。ヘンリエッタ曰く、神経質そうで黒さもありそうだが、黒さを飲ませるだけの図太さはなさそう。口調も学者っぽく、理路整然とした話し方をする。実世界でも間違いなく理系に違いない。

研究面では〈ロデ研〉のトップとして、手動で〈外観再決定ポーション・量産型〉など高難易度の薬品の開発に成功している。研究機関内の統制もとれて

おり、豁達な議論が行われているなど運営も順調なようだ。案外、実際に教授や准教授・助教なのかもしれない。

幻想級レシピをいくつも所持していることから、それなりに大規模戦闘や高難易度の連続クエストなどに参加していると推測できる。〈召喚術師〉であるため、薬で直接召喚生物を増強して戦闘に寄与というのは難しそうだが、要所で高級薬品を使い

潰せるだけの覚悟を持っていれば、相当パーティの安定性に寄与できることだろう。

イラストを見ると、首や胸元にじゅらじゅらと薬品の入った試験管っぽいものをぶらさげており、コケると非常に怖そうな人である。

ミカカゲ

スイーツは芸術だが、その他の料理は娯楽

森呪遣い

料理人

ヒューマン

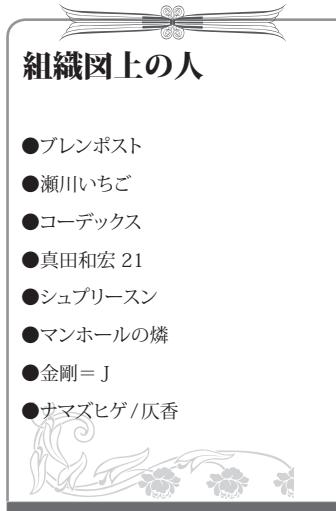
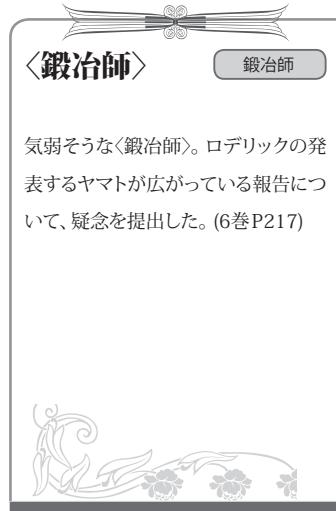
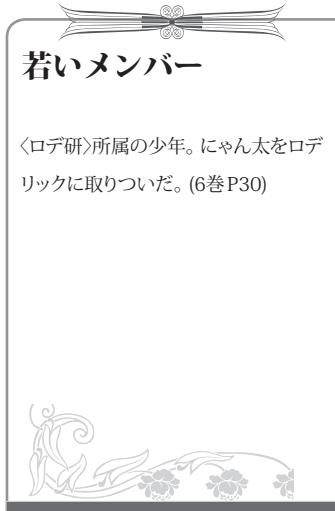
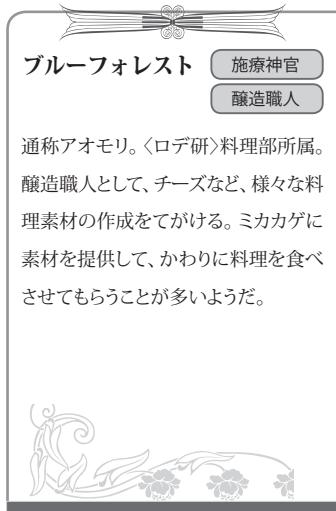
水楓の乙女

〈ロデ研〉料理部所属の少女。召喚生物であるアルラウネのアリーと一緒に歩いており、作ってもらった手製の服などを着せたりして可愛がっている。他に、マイコニド、オーキスなどもいるらしい。

調理師専門学校で製菓職人を目指す学生であり、〈ロデ研〉でも素材を作れるアオモリ(ブルーフォレスト)と組んで、現実世界の菓子の再現研究を行って

いる。

水楓の乙女として、レイネシアの元に各種スイーツやたまに料理を運んでいる。結果、レイネシアからは頭が上がらない相手として認識されているようだ。



♪ログホラまめちしき

◆フレーバーテキストが効果を持つということは、ルンデウハウスの「天使のブラシ(毛並みつやつや)」あたりは確実に効果が増してそう。とかすだけで、CMのような「ふあさっ」具合になるかもしれない。現実のドライバー

系ですらあれだけ副次効果をうたったものが売れているのだから、女性〈冒険者〉が目をつけて買い占めにはしる日も近い。

◆〈大災害〉以後のプレイヤーホームに風呂などの水道設備がないと明言さ

れていたけど、当然下水もないわけで…数千人が野良ですませると「汚ない中世」そのものだし、きっと汲み取り回収や、下水回収する職人ギルド達の隠れた活躍があったに違いない



れでいお RADIOマーケット

アニメで呼び方が判明した、古参ギルド

比較的小規模の生産ギルド。小中規模ギルドの代表として〈円卓会議〉に参加し、11ギルドの一つとして活動している。ギルドマスターは“御隠居”茜屋=一文字の介。

派閥を好みない淡白な運営方針のため、ソロプレイヤーの駆け込み寺となり、癖のある古参が多いらしい。

かつて中小ギルド連合を作ろうとして、各々のエゴにより瓦解した経験がある。〈円卓会議〉の成立後は色々と業務を請け負っているようだ。

“御隠居”茜屋=一文字の介

確かに、その計画は瓦解してしまいました

妖術師

機工師

ギルドマスター

シロエ以上の古参プレイヤーにして、物理的にも精神的にも顔が広い、古参ギルドの御隠居。〈七つ瀧城塞〉の平定作戦では、後続を勤めている。

ギルドはソロプレイヤーが多いとの事なので、とりあえず便利だから参加しておこうというゆるいギルドなのかもしれない。そういうギルドに限って、高レベルが居着いてだらだらしてたりするので、いざという時の

行動力は意外にあると思われる。ただし、古参が多いだけに内部の調整は相当に難しそうであり、中小ギルド連合を立ち上げようとして失敗したのは、ギルド間の軋轢や独善だけではなく、ギルド内の意見統一が難しいギルドが多数あったからだと考えられる。

アメノマ

日本刀の作刀、受けたまわります

武器鍛冶系ギルドの中でも、日本刀に特化したギルド。生産ギルド街の奥にある廃ビルの地下に店をかまえている。

その性質上、〈武士〉〈神祇官〉との相性が良さそうであるが、装備可能な職業はアイテム側に設定されているため、〈暗殺者〉や〈守護戦士〉〈吟遊詩人〉などが装備可能な小太刀があるなど、

和風な日本刀といいつつも装備できる職業は広いらしい。

一種別の武器あたり1万程度の種類はあるそうなので、レベル帯も考えればきっと日本刀系に限っても千種類程度のレシピはあるのだろう。それならば、特化しても十分にやっていけそうである。

多々良

——無口で無愛想な使い手のためだけに、アメノマが刀匠、多々良が鍛え直す。願わくばあの生真面目な娘が折れず歪まず進んでいけるように。邪悪な呪いも世の悲惨も跳ね返し、人が刀を、刀が人を支えられますように。

武士

刀匠

ドワーフ

ギルドマスター

アメノマのギルドマスターにして、優秀な〈刀匠〉。〈刀匠〉は〈鍛冶師〉の上位職だが、成り手は数少ないらしい。

水楓の乙女として、アカツキ
に願いを込めて、〈鳴刀・
喰鉄虫〉を打ち直した〈鳴刀・
多々良〉を託した。

ダンステリア

恋人たちの守護神

天秤祭で、恋人達のためにケー
キバイキングを主催したギルド。
カップルで制限時間45分以内に
ケーキ8つを食べれば無料、
という比較的良心的な内容で、
〈冒険者〉〈大地人〉問わず、ア
キバの街のカップルを応援した
かったと推測される。

そのためか、事前予告してま
で美少女二人を引き連れたシロ

エに対して、ギルド総意の元に、
ケーキ12個がホールケーキ12個
に化けることとなった。

加奈子

当ギルドからのサービスでございます

ギルドマスター

通称、加奈子女史。ヘンリエッタと親しくしている職人肌の女性ということだが、天秤祭では恋人達用のケーキバイキングを開催するなど気風の良いところもあるようだ。

シロエが持ち掛けた少女二人を同行という話に対して、詳しく聞き取った上で、ホールケーキによる制裁を加えることを決意していた。これを、ヘンリエッタの淡い思いに気がついてい

て実施したとすれば、なかなかの友人思いである。

もっとも、ソウジロウに対しても同じ行動をしているので、基本軟派男には制裁という方針なだけかもしれない。

ココアブラウン

服飾系ギルド

天秤祭で、小物を売っていた小規模の生産系ギルド。趣味が良いアクセサリーを、戦闘系ギルドへの恩返しとして安価で販売していたところ、〈大地人〉に箱買い粘着され、シロエに助けてもらうこととなる。

ドワーフ娘

ドワーフ

ころりと可愛らしい容貌の娘。中年商人をしおけたシロエの手を握りしめて喜んだ。アニメ版ではねみみという名前の娘が一人で相手していたため、厳密な対応は不明。(5巻P216)

中年商人

天秤祭で、他のギルドへの還元として安値販売していた〈ココアブラウン〉のアクセサリーを買いしめようとした〈大地人〉の商人。我慢できずにふるった拳は指先で受けとめられ、腹黒眼鏡全開のオーラで威圧され、逃げ去った。アニメ版ではコンスタンタンという名前。まっとうな商人であれば販売元とは良好な関係を築き、長期間のお得意になろうとするものだが、案外駆け出しで余裕がなかったり、転売ヤーだったのかもしれない。(5巻P212)

ブリガンティア

ススキノをシメていた悪質ギルド

ススキノの治安悪化の原因となっていた、悪質ギルド。リーダーはデミクアス。〈大災害〉後に治安悪化に伴い発生した急造ギルドと思いきや、意外にもその前から利益優先のマナーの悪いギルドとして知られていたらしい。構成員は「野盗」としか呼ばれていない。おいしい狩場の占有や、詐欺露店でもしていた

のだろうか。

ナンバー2の“灰鋼”のロンダーグとで派閥が分かれており、どちらに従うかの力関係があるために、統制は一枚岩ではない。そのため、シロエ達に陥落を突かれて壊滅する羽目になった。その後、アキバを出てきた〈シルバーソード〉に負けて傘下になった上に、ロンダーグは引き

抜かれてミナミに行くなど、さんざんな状況のようだ。どれだけの人員が残っているかは不明。



〈ブリガンティア〉のリーダー。〈武闘家〉で、シロエ曰く「割と上手い」。虎の爪を模した武器に、軽装の防具。太股が毛むくじやら。家は、気の強い〈大地人〉の嫁さんに制圧されているらしい。

セララを巡ってにゃん太と一対一で戦い、乱戦気味になった所をシロエとの連携の前に瞬殺された。また、アニメ以来、まともに名前を呼ばれることが少

ないデミなんとかさんもある。装備を一新しているので、ブリガンティア壊滅後もレイドをくぐりぬける程度の仲間はいる見える。

シロエへの恨みは〈奈落の参道〉でシロエに「名前を呼んで」とするまで続いた。力を見せつけてから名前を呼んでもらうあたり、高町式交渉術を会得しているようだ。



初心者を餌食にしていた、奴隸使いギルド

アキバの街で初心者救済と称して初心者を騙して加入させ、〈EXP ポット〉などの上がりを跳ねた上で強制労働までさせていた悪質ギルド。

巻き上げた〈EXP ポット〉は、レベル91を目指す〈黒剣騎士団〉や〈シルバーソード〉などに販売していた。〈EXP ポット〉は二時間程の効果しかなく、一

人あたり1日1本しか補充されない。騙された新人プレイヤーは救出時に35人程なので、ほぼ全てが二大ギルドに流れていたと推測できる。

〈円卓会議〉成立の裏でシロエ達により救出作戦が実施され、新人を救助、残りのギルドメンバーはギルド会館に入れなくなり、結果ギルドは解散した。

名前からして「ハーメルンの笛吹き男」なので子供(新人)に悪いことうけあいである。いくらせっぱつまっていたとはいえ、少しはあやしく思わなかったのだろうか?原作では笛吹き男が子供たちをつれていくが、絵本などでは改心したりするらしい。そちらのバージョンが主流の時代なのかもしれない。



シュレイダ

このままギルドホールに戻りや、お前なんかどうとで

召喚術師

〈ハーメルン〉所属のプレイヤー。暗紅色のローブを着た46レベルの〈召喚術師〉で狩猟チームのリーダー。なんと同ギルド中で唯一の名有り。アカツキの觀察によると、息が臭そうな大男で、シュレッダーに放りこんだかのような顔をしている。

救出作戦でトウヤ達に呪文をかけた上で、逃げ出した新人達を追い掛けてギルド会館まできたのは良いが、アカツキに割り

込まれた上にわけがわからないうちにギルド会館から排除された。

新人達とは違い、支配する側になれるだけの高いレベルは持っていたようだが、パーティプレイを理解していなかったことからすると、案外ソロ中心だったりログインしていなかつたりで、実際の〈エルダー・テイル〉歴は短いのかもしれない。

ギルドマスター ギルドマスター

暗い目付きをしたプレイヤー。アニメによると名前は「黄昏の探求者」。物語の出番は上記の登場シーンと、最後にギルドを解散した位だが、〈EXPボット〉の搾取といい、新人達の実質的な奴隸化といい、倫理観の欠如と悪い方向への決断力はそれなりのものであったのだろう。(2巻P263)

見張りの幹部

厨房で新人達を見張っていた男。後衛新人の監督も任されているのか、ミノリに〈裁縫師〉の作品の指示をした。すらすらと素材を並べたてたということは、彼も〈裁縫師〉持ちなのかもしれない。

短髪の盗賊

トウヤ達の脱出の邪魔をした中堅盜賊。大声を出そうとしたところを、トウヤに〈百舌の速贊〉をかけられ、黙りこんだ。

15秒かけても低レベルの新人をビンチに追いかんだけなので、シェリダ同様にレベルは低いのかもしれない。

生産職の男たち

下卑た目を新人の少女達に注ぎ、威嚇の声をあげた。ギルド会館に逃げたトウヤ達に追いつけなかったので、出番はそれだけ。

〈料理人〉の子

料理人

湿気た煎餅味の黒パンを作らされていた。おそらく入手が容易で素材費が安く量産効率が良かったのだろう。

〈吟遊詩人〉の仲間

吟遊詩人

狩りの後ふらふらになっていた。(2巻P61)

もしかして: 五十鈴

ドレッド・パック

アキバ近郊のPKギルド、その壱。

アキバの街の近郊、「口力の施療院」への坂付近でPKをしていたギルド。

PKは元々一定量のアイテムを失うことから忌避されていた。スピリット・セオリー以後、特に〈魂理論〉を知った8月以降は、PK=強制的に記憶を失わせる行為となり、極めて罪が重いものとなつたと推測される。

他にも〈たいだるくらん〉〈ブルーインパクト〉〈カノッサ〉といったPKギルドがあったようだが、情勢をかんがみて〈円卓会議〉により解散させられるか、スキノまで逃げこんだと思われる。

アニメでは、スマッシュ、リコピン、カツオ丸、ストロガノフの四人パーティ(〈召喚術師〉〈妖術師〉は不在)。改心した後はアキバの各所に出没し、一般的な〈冒險者〉の代表となっていた。

リーダー(仮名)

盗賊士

長刀を二本装備している。奇襲したり、シロエ達の行動に対応してすばやく戦術をかえたり、伏兵を置いていたりしているので、前線指揮の腕前はそれなりにあったようだ。

〈武士〉(仮名)

武士

PKで真っ先に直継による盾の一撃を受けた野盗。直継とシロエによる〈ソーンバインド・ホステージ〉の連携により倒された。

回復役(仮名)

シロエの〈アストラル・ヒュプノ〉で開幕から睡眠状態。最後まで寝たままであった。起きてみたら仲間は全員死亡して獲物にアイテムを漁られているという状態に出喰わすのか。はたまたその他としてさくっと画面外で殺されていたのか。どちらにしても何もできそうに無い野盗である。

〈妖術師〉(仮名)

妖術師

こっそりとアカツキに制圧されていた人
その一。

〈召喚術師〉(仮名)

召喚術師

こっそりとアカツキに制圧されていた人
その二。

長髪の盜賊(仮名)

大きなナイフを持った野盗。最初シロ
エに突撃しようとして魔法で足留めさ
れ、直後に攻撃。〈武士〉の死亡により
士気喪失したところを、直後に殺され
た。



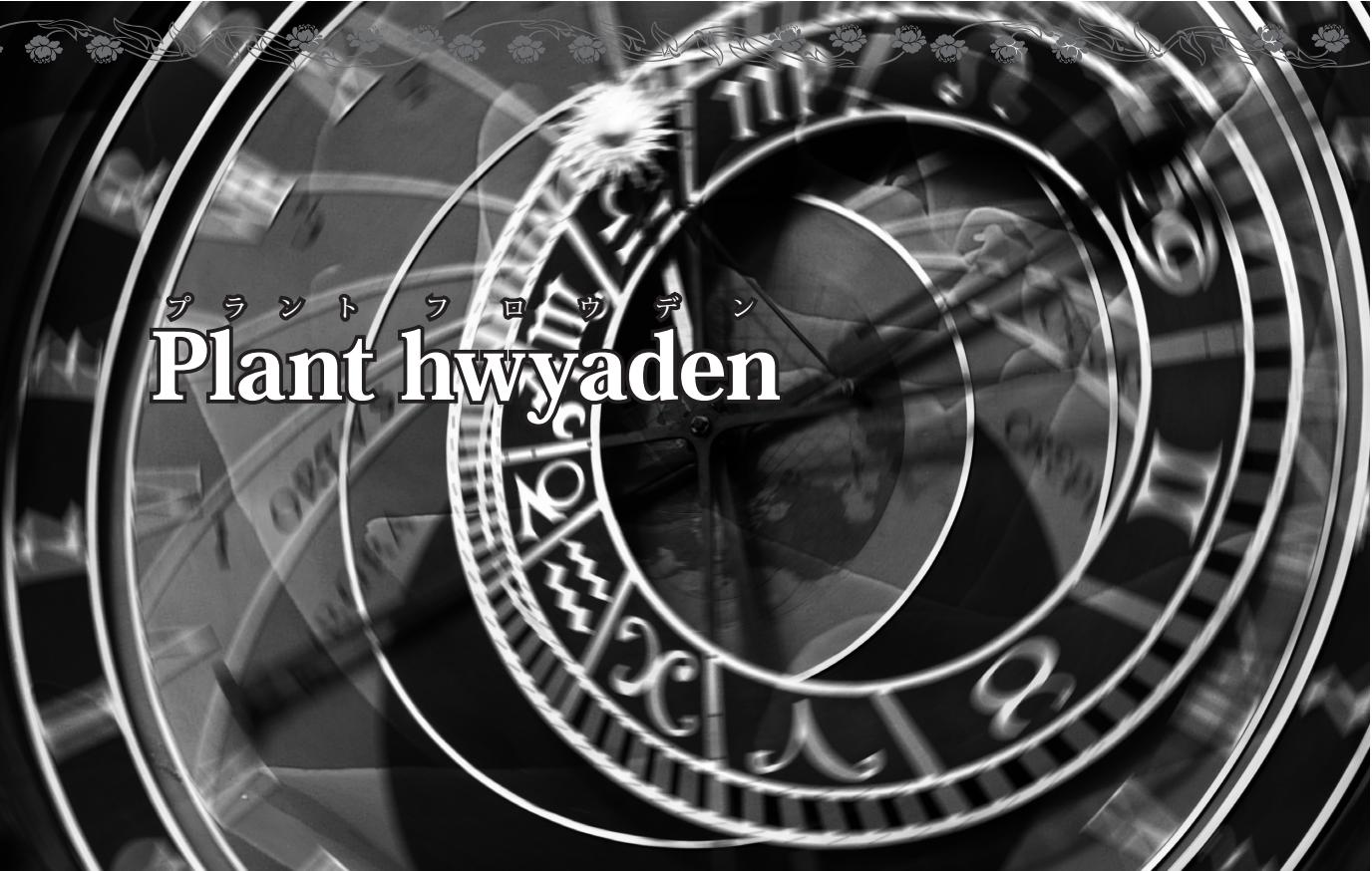
◆ログホラまめちしき

◆既存製作メニューに寿司がある可能
性は高いですが、回るか、回らないか
で難易度が変わりそう。〈大地人〉は調
理スキルの問題で高級寿司が作れない
可能性が高い。つまり、手作りの変わ
り種寿司が流行するに違いない。

つまり、寿司には4種類あると。冒険
者の手作り高級寿司、手作り回る寿司、
手作り変わり種寿司、メニュー寿司。
冒險者製の最高級寿司なら、金貨
30000枚はくだるまい。

〈ロデ研〉大人気のえんむすびのおにぎ
りも、同様にスタンダードな具はスキ
ルを必要としそうなので、ちょっとひ
ねったものが多くなりそうです。





プラント フローヴィデン
Plant hwyaden

濡羽の元にぬかづいた、ミナミの街そのもの

ミナミを拠点とするギルド。正確には、ミナミの街の〈冒険者〉全てが属さなくてはならないギルド。総領は濡羽。彼女が貴族と斎宮家に近付いて支援を受け、ミナミの街の大神殿ゾーンを購入。ここに「单一ギルドによる、ギルド間差別のない街」が誕生した。もちろん、実質は一党支配。〈神聖皇国ウェストランデ〉にも相当な影響力を確保していると推測できる。

〈十席会議〉を頂きとして高度に組織化されており、排他的で統制がきいている。〈大地人〉たちも取りこみ、権謀術数が渦巻いていると考えられるが、情報遮断のためにその詳細はうかがいしれない。

実体としては、階級差により得られる利益の差など、〈壬生狼〉が頑張れば頑張るほどに、細かなところでの綻びが多数あるようである。

一般の〈冒険者〉や〈大地人〉にとっては、「幸福ですか、〈冒険者〉？」と日々問われ、幸福でなければ大変なこととなる恐ろしい街になっているのだろう。



“西の納言”濡羽

ですから、はやく……濡羽は、シロ様の声が、聞きたいです

付与術士

狐尾族

ギルドマスター

西の総領にして、ミナミの実質的支配者。斎宮家に近付き、権謀術数を駆使して今の〈Plant hwyaden〉の仕組みを作りあげた女性。漆黒のゴシックドレスに嫋娜っぽい狐耳の美女にして、暗闇で一人尻尾を抱え震える女。ビルドは、妨害特化のフリーザー。

〈円卓会議〉から見えないところで数々の実験を行っているようで、パラメータを全く別のも

のにする〈情報偽装〉や、〈都市間転移門〉の限定復帰など
のオーバースキルを有している。
さらには、現実世界復帰への道
らしき現象も掴んでいるようだ。

天秤祭の最終日に、シロエと
邂逅。ミナミへと誘うが振られ
てしまう。その勧誘が実に蠱惑
的で、媚態の表現のためにペー
ジの色まで変えて演出されたほ
ど。その後、ミノリ達の前にも
ダリエラとして現れ、短い間で

はあったが共に旅をした。



ダリエラ

どうしてそんなこと、言うんですか？

二級市民

大地人

濡羽の仮の姿。柔らかな風貌 ススキの穂のような淡褐色の髪をした〈大地人〉の女性。〈情報偽装〉で情報は偽装されている。大嶋の代理人としてシロエの前にあらわれた時は、レベル10の旅の物書きとしてだった。アニメの職業は〈年代記作家〉。

その後、ミノリ達年少組パーティの前にも現れ、しばらく旅を共にした。イコマの山の中で一人暮らしをしており帰るところであると、疑わしい事項は何もなかったはずだが、トウヤだけは彼女の本質を見抜いた。

<p>インティクス</p> <p>妖術師 エルフ</p> <p>〈十席会議〉第二席たるメイド。瀧羽は会議に出ることは稀なので、彼女が事実上の実務トップ。ゼルデュスが書類などの実務ならば、方針に修正を加えたりするのが彼女の望んだ役割なのだろうか。</p> <p>瀧羽の前では性格が違い嗜虐的な面を見せる。瀧羽の城を作るかわりに、ヤマトサーバのすべてを手中にする、という契約を交わしているようだ。</p>	<p>"監視塔" ゼルデュス</p> <p>施療神官 法儀族</p> <p>〈十席会議〉第三席。開発と財政を受けもつ鉄血の宰相。統治の手を放した瀧羽に代わり、〈Plant hwyaden〉の実務を取り仕切っている。会議の場にもデスクや書架を置くなど、事務面でインティクスよりも精力的に動いているようだ。</p> <p>魔導技術の根幹となっている様子が伺える〈凝魔鍛術〉を開発するなど、技術にも造詣が深い。</p>	<p>"東跋将軍" ミズ ファ=トルーデ</p> <p>大地人 戦将军</p> <p>〈十席会議〉第四席、〈大地人〉軍をたばねる上級将軍。元老院派最強の武将。三十すぎの美人だけど、戦闘大好き戦争大好き。ミナミの街の情報遮断を取り仕切っているらしい。</p> <p>〈赤き夜〉作戦として〈冒険者〉が開発した鋼鉄車両を操り、〈闇精靈の従僕〉を用いて〈鋼尾翼竜〉をサフィールの街にけしかけた。〈冒険者〉に対して色々な思いがあるようだ。</p>
<p>"南征将軍" ナカルナード</p> <p>守護戦士 狼牙族</p> <p>〈十席会議〉第五席。〈大地人〉軍を率いるミズファに対して、〈冒険者〉軍を率いている。ミズファの方が位席が高いのは元老院に対する配慮らしい。</p> <p>元関西最強ギルド〈ハウリング〉のギルドマスター。当然レイドにも参加していたであろうし、アキバの戦闘系ギルドの面々への人脈の一つや二つは表裏両方で持ってそうである。</p>	<p>"予言の歌い手" クオン</p> <p>法儀族 吟遊詩人</p> <p>〈十席会議〉第六席。〈エルダーテイル〉時代にはヤマトサーバを管理する〈F.O.E.〉に雇われており、運営側のゲームマスターであった。なんとなく鹿が跳ってきそうな社名である。</p> <p>プライベートPCからのログインで〈大災害〉に巻きこまれたためにGM能力は制限つきだが、〈彼方からの呼び声〉により、一部のイベント発生などを知ることができる。</p>	<p>カズ彦</p> <p>暗殺者 人間</p> <p>着込襦袢に襷高袴、陣羽織をまとった浪士風の青年。元〈放蕩者の茶会〉の攻撃指揮。現在は〈Plant hwyaden〉で〈十席会議〉第七席として、私兵集団〈壬生狼〉を率い、内側からの健全化を狙う。</p> <p>本名、克己。〈赤き夜〉作戦の際は、にゃん太とミズファの間に割りこみ、〈冒険者〉の域をはみ出したエクスターーションにより、にゃん太をしりぞけた。</p>
<p>"ミラルレイクの大魔導師" ジェレド=ガン</p> <p>エルフ 大魔導師</p> <p>〈十席会議〉第八席。〈大地人〉を代表する、魔法学と歴史学の権威にして、先代のミラルレイクの賢者。酷薄そうな瞳。数年前に他界したとあったが、実体はミナミに流れついていたようだ。</p> <p>ゼルデュスの〈凝魔魔術〉を元に凝魔炉を作成し、魔導技術による魔導機械を次々と生み出しているらしい。アキバに来た精靈船エーギルもその一部だったのかもしれない。</p>	<p>"近衛長" ロレイル=ドーン</p> <p>施療神官 人間</p> <p>〈十席会議〉第九席。瀧羽を姫様と呼び、瀧羽が脱走した際は追いかけている。近衛の二つの通り、瀧羽を護衛することを任としているようだ。</p>	<p>"変幻道化" K R</p> <p>召喚術師 エルフ</p> <p>〈十席会議〉第十席。元〈放蕩者の茶会〉メンバー。端がちぎれたような粗野なマントの瘦身。おそらく、茶会で罰ゲームとして〈ちんどん屋〉になった〈召喚術師〉とは彼のこと。</p> <p>会議ではリゾートチアにアイマスクと、思いきりだらけていた。真面目に書類仕事をしている第三席とのギャップが激しい。彼の詳細については、9巻で明らかになることだろう。</p>

**“灰鋼”的
ロンダーグ**

妖術師

元〈ブリガントニア〉のナンバー2。二つ名は灰色のロープ（名称不明）から。その後ミナミからの引き抜きに応じ、ミズファに雇われている。

ススキノでは、アカツキに制圧されで片腕を落とされた末、シロエに首を狩られた。〈赤き夜〉では、自分は部外者であるという叫びによりにゃん太を追いつめたが、ミズファの不意打ちはより首を後ろから貫かれる。負け癖？

少年〈冒険者〉

〈大災害〉直後、濡羽に「この世界はゲームではないんだ。僕達はここで生存競争をしなければならない」と説いた。その後は、ギルドの構成員として、命をかけて励んでいるようだ。(7巻P13)

大鳴

ドワーフ

シロエの古い知己で、ミナミに潜み〈神聖皇国ウェストランデ〉の情報を探っていた。

しかし、濡羽に察知されていたようであり、アキバの街に来たのは情報を偽装したダリエラであった。対応が緩くて足留め、実際には統制のきいた組織なので、おそらく今頃は監禁されていることだろう。現実世界への帰還実験に利用されたりしていないことを祈る。

執政家の若き当主

大地人

濡羽が、甘え声で魅惑する対象として挙げた人物。過去に、実際に籠絡したことがあるのだろう。(7巻P12)

侍女

濡羽の侍女。〈赤き夜〉作戦時にふらりと姿を消した濡羽により、半狂乱のありさまとなる。(8巻P159)

一番

ナカルカードがアキバに潜ませている手下らしい。東北への遠征軍の詳細を報告していた。(7巻P34)

侍従

濡羽の侍従。〈赤き夜〉作戦時にふらりと姿を消した濡羽により、半狂乱のありさまとなる。(8巻P159)

**アーケンマンサー
二人の魔導技術者**

〈赤き夜〉作戦において、鋼鉄車両の中の一段低くなった操縦席に座る。おそらく、鋼鉄車両の操縦をしているのだろう。(8巻P161)

**サージェント
鶴 飼**

大地人

〈赤き夜〉作戦において、鋼鉄車両でゆられながら、蓋の無い棺桶に似た寝台から〈闇精靈の従僕〉を召喚・操作する人たち。黒い仮面をつけて偽の眠りに落ちて、〈従僕召喚の宝珠〉に連結されている。〈EXPポーション〉の直接注入により経験値効率をあげ、安全かつ強制的なパワーレベリング。期待のかかった〈大地人〉軍人たちなのだろう。(8巻P163)

オデュッセイア騎士団

さくせん：ガンガン逝こうぜ

多く死ねば地球に復旧できるといふ〈^{オデュッセイア}望郷派〉たちの所属する団体。復活地点を変更できる〈北風の移動神殿〉を複数持ち出してまでして、自らの死亡フラグを着実に打ちたてては消化していく恐しい集団。

構成員の中には、死んだ時に見える光景が目的と化している者もいるようだ。

〈赤き夜〉作戦でミズファにいいように使われていたが、いかにも特殊そうなアイテムである移動神殿を多数所持していることから、〈Plant hwyaden〉に近いか、影響下にある組織なのだろう。

騎士鎧の〈冒険者〉

市街戦に持ちこむという指揮を行っていた〈冒険者〉。夏になつたら結婚する予定だったらしい。結婚した後の妄想を延々たれながら続けた、元・リア充。「こんな世界が本物であるはずがない」と主張を続け、トウヤを打ちのめしかけた。

〈大地人〉をまきこむ市街戦にする決断をした割には、周囲のヘイトを考えない突出や誤射を見ても何も言わないあたり、まったく統制をとっていない。ゾンビ戦法をするにしても効率を求めるべきであるのに、目の前だけ見て愚直に戦うあたり、LHZで言う ^{キャラクターランク}C Rは非常に低そうである。(8巻P264)

イシイジロウ

武士

十数人の団員を率いて二列で移動していた。(8巻P152)

隊員

イシイジロウに率いられて、〈北風の移動神殿〉を運んでいた。全部で14人の〈冒険者〉たち。(8巻P152)

〈守護戦士〉

守護戦士

周囲のバランスも考えずに、〈鋼尾翼竜〉のヘイトを稼いでいた。案の定、すぐに死亡。(8巻P253)

〈武士〉

武士

周囲のバランスも考えずに、〈鋼尾翼竜〉のヘイトを稼いでいた。案の定、すぐに死亡。(8巻P253)

〈暗殺者〉

暗殺者

〈北風の移動神殿〉で復活した直後に、近くの〈鋼尾翼竜〉にとびついで大剣を叩きつけた。(8巻P255)

〈妖術師〉

妖術師

ヘイトを考えずに〈ライトニング・ネビュラ〉で広範囲攻撃を打ち、〈鋼尾翼竜〉と共に、ほぼ同数の〈オデュッセイア騎士団〉を巻きこんだ。ゲームによってはPKペナルティがつきそうだが、きっと気にしないのだろう。(8巻P255)

隊員(仮)

物狂いのように剣をふるっていたところで、ミノリの障壁呪文を受ける。(8巻P317)

〈森呪遣い〉

森呪遣い

濡羽の〈アストラル・ヒュプノ〉によるワイヤーパンの落下に巻き込まれて死亡。(8巻P334)

騎士たち

おそらく、ミノリとロエ2が助けた人たち。力付きたように跪いていた。(8巻P318)

〈円卓会議〉が用意するべきだった人員

〈エターナルアイスの古宮廷〉で、本来ならば特使と専門家以外にどのような人員が想定されていたのかを検討してみます。実際にはシロエが〈料理人〉と給仕担当を3人以上6人以下で追加していましたが、はてさて。

まず、男主人にはヴァレット、女主人には侍女。これらはそれぞれの主人の腹心で、指揮命令系統も主人直轄で部下もいない役職です。まあ、〈冒険者〉には不用ですね。イネシアのエリッサがこの侍女です。その他に、おそらくは領地に残り主人の代理として管理しているでしょうが、執事。

次に表側の仕事である従僕として、フットマンと、その下の雑用を行うボーイ。女性がする場合はパーラーメイド。フットマンやパーラーメイドは給仕や、人員の取りつぎ、メッセージの伝達なども行います。これは普通にカーユなどが相当すると思います。ボーイに相当するさらに下がないのが、〈冒険者〉達の人数が少なくなっていた原因の一つでしょう。

ベッドメイクや掃除などの裏側の仕事はハウスキーパーの監督の

元にハウスメイドなどが実施しますが、ゲストルームですのでそこまでは期待されていないでしょう。裏側の仕事はある程度までは主催者側のメイドが行っていると考えられます。普通のゲストですと、ハウスメイドが紅茶や軽食を持って起こしにいくそうですが、規模的に難しそうですね。何人かは連れてくることが期待されています。そして、〈冒険者〉は自分達で適当にやっていそうですので、ここも人数で差が出るところです。

食事に関しては重要事項であり、基本的な朝食などは用意してもらえたようですが、色々と会合を開く都合上、各領主共に腕利きをつれてきていると考えられます。そうなると、コックにキッチンメイド、その下のスカラリーメイド。特に菓子に力をいれるならば専用のコンフェクショナー(砂糖菓子職人)やペストリー・コック(練った小麦粉などの菓子職人)。〈冒険者〉は高レベルの料理に挑戦できる分〈料理人〉が強いですし、実際に増強もしましたので、もし他の領主を招いたら、この方面的のアピールポイントは相当なものであつたと思われます。

自由都市同盟 イースタル

ヤマト(日本サーバ)に5つある文化圏の一つで、本州の東半分をしめる。かつてヤマトを支配していた〈ウェストランデ古王朝〉の血脉を受け継いでおり、ウェストランデ皇王家から拝受した公爵家を筆頭に貴族社会を築いている。現在の筆頭領主はセルジアッド＝コーヴェン公爵。

西の〈神聖皇国ウェストランデ〉が斎宮家を古王朝の後継をみなしでいる一方で、同盟では「あくまで『分家』であり皇王家の血筋ではない」としており、潜在的な対立があるようだ。

一方で、〈大地人〉の統治範囲は、主要な街から騎士団などの自国の兵力が展開できる範囲であり、全ての町や村が統治下にあるわけではない。〈冒険者〉が頼れなくなった時期を考えると、滅亡した村々の一つや二つはありそうである。

出汁が関東風なので、京風のウェストランデとは蕎麦汁を巡り血で血を洗う争いを繰り広げているとかいないとか。



マイハマの都

ハハハハッ！

日本サーバ最大の街。大聖堂が無いためにプレイヤータウンではないが、クエストが豊富で訪れる機会が多い。繊細な鋼細工の高架歩道と空中庭園が特徴的で、白亜の宮殿「灰姫城(キャスル・シンデレラ)」を有する。

領主はコーウェン家。現在の領袖はセルジアッド=コーウェン。

「舞浜」の地名は1975年にウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートのあるマイアミにちなんでおり、私企業による命名である。当然、灰姫城はシンデレラ城がモチーフであろう。そういう意味で、東日本最大の統治機構がマイハマの都にあるのは興味深い。

実は都壁の中に入るには高額な入場料が必要で、何度も来るならば年間パスポートがお得なんてことはないはず。まして、コーウェン家に伝わる真の紋章はみつつの黒まる…おや、誰かきたようだ。

セルジアッド＝コーヴェン

ふむ……どう思うね？ ミチタカ殿

貴族

ヒューマン

大地人

領主

マイハマの都を治める公爵にして、自由都市同盟イースタルを統べる筆頭領主。〈ウェストランデ古王朝〉から公爵位を授けられた家はヤマトに二家しかなく、まさに名家中の名家である。

孫娘が二人、孫が一人いるが、姉の方は他家に嫁いでいるために、最終的にはレイネシアに嫁いだ男性かレイネシアの弟がコーヴェン家を継ぐと目されている。そのため、社交界デビュー

したレイネシアへの注目度は非常に高い。

筆頭領主の名は伊達ではなく、こっそりミチタカと会談して合意の大筋を取りつけたり、アキバの街にレイネシアを置くことで政治的な立場を確保していたりと、言動的には場を抑えきれていないように見えても、行動を見ていくとしっかりと意思を通している。あるいは、表だってしまうと立場的に言動の影響

力が強すぎるので、裏で立ち回ることでほどほどの影響力に抑えているのだろうか。

非常時とはいえ普通ならせいぜい高級官僚や大使級の会合をいきなりトップが乗りこんで合意まで持っていく手法は、歴史と伝統を背負った上で道を探すことのできそうな人物である。

レイネシア＝コーヴェン

もうダメです ホントにダメです ……なんで、いまなのでしょうか。……なんでわたしですか？

貴族

プリンセス・ローズガーデン
薔薇園の姫君

ヒューマン

大地人

水楓の乙女

貴族

マイハマはコーヴェン家の姫にして、現在のイースタル筆頭領主セルジアッド公爵の孫娘。他家に降嫁した姉と、弟がいる。別名「イースタルの冬薔薇」「銀月の巫女姫」。

銀髪に濃い青灰色のたれ目、ほっそりとした美少女と、絵に書いたような姫姿だが、その正体はぐうたら娘であり、侍女のエリッサにはあきれられている。クラスティに性根を見抜かれて

からは、彼の社交における重要な盾^Hパートナーとなっている。

一方で、貴族としての矜持も人一倍持ちあわせており、ゴブリン襲撃の際には混迷した領主会議を飛びこえて自らアキバの街に助けを求め、東の討伐軍結成のきっかけとなった。その後、アキバの街の水楓の館に大使として赴任しているが、〈大地人〉と〈冒険者〉との常識差の調整、供贊一族からの難題など、三食

昼寝つきには程遠い状態にあるようだ。

水楓の乙女として動いたアキバの殺人鬼退治において、貴重な友人と仲間を得る。だが、クラスティに近いメンバーがいることから、女子だけの秘密がどこまで守られるか、心配なところである。

アニメではレイネシア=エルアルテ=コーヴェン。

エリッサ

エルダーメイド
ハーフアルヴァ
大地人

下級貴族の娘で、コーワン家に雇われてレイネシアに仕える侍女 (Lady's maid)。侍女は基本的に主人に常に付き添うのが役割である。通例では制服が無くエプロンもしなくて良いはずなのに、きっちり着ているあたりは仕える家柄から来る厳然たる区別なのだろう。

複数の侍女が仕えている様子があることから、パーソナルメイド (waiting-maid) や侍女見習いを含む複数の侍女がいて、エリッサがハウスキーパー よろしく姫直下の独立小組織を統括しているのだろう。流石筆頭公爵家の公主付きである。

長く仕えているだけあり、(二人だけの場合に限るが) 主人への言動に容赦が無い。レイネシアの事について語らせたらきっと何時間でも語り続けられる位に、だらしない面も貴族然とした社交的な面も見てきているのだろう。

LHZ では読者への窓口として頑張り中。

警固の騎士

レイネシアの警固を行う。レベルは30くらい。地方領主の語る騎士団と同程度なので、おそらくはこの位が騎士として叙任され、訓練を重ねたレベルなのだろう。当然、戦闘面で高レベルの〈冒険者〉相手は辛いと思われる。一方で、日本人相手なので、なんとなく「お行儀よく」してもらうために、きちんと武装した警固姿は必要なのだろう。

フェーネル =コーワン

大地人

レイネシアの父。サラリアに婿入りすることでコーワン家の一員となった。文官上がりの実務畠とのことだが、非常時の即断といい行動力は必ずしもセルジアード公やレイネシアに負けていない。エリッサが見るに篤実そうな人物、レイネシアから見て夫婦の仲は堅苦しい。非常時を見るに、セルジアード公の目は確かだったと言える。

供まわりの騎士

セルジアード公が、ミチタカとの深夜会談に連れてきた騎士。重要な会合にただ独り連れてきたからには、口が固く信用がおける、近衛の中でも選りすぐりの騎士なのだろう。(4巻P188)

サラリア= コーワン

大地人

セルジアード侯の娘にして、レイネシアの母親。夫のフェーネルとの仲はレイネシアが見て堅苦しく、政治的な結婚であったと推測できる。

娘のレイネシアの容姿からすると、たおやかで非常に美しいはず。常態の貴族社会ではありえないレイネシアのアキバ派遣について、彼女はどう考えているのだろうか。

新人メイド

水楓の館で働くエリッサの部下の一人。メイドといいつつ侍女扱いらしい。レイネシアの世話をするが、貴族や商人の格式にあわせた装束を選ぶにはまだまだ経験不足のようだ。きっと、エルダーメイドの知識とスキルの中には、そのような技能も含まれているのだろう。(5巻P220)

オウウ

名前だけだと、ほぼ東北地方全域

レスター侯の治める都市。イースタルの北限にあり、堅固な防壁が特徴。人口は一万人程度と貴族の中では中堅。近隣の街よりは小さいようなので、北方は中規模以上の都市が多いのだろう。

城塞都市モガミとの切り分けがよくわからない。奥羽は、陸奥国（奥州）と出羽国（羽州）

を合わせた地域を示すが、最上地方は出羽国に含まれている。つまり、そのまま考えるとオウウの中にモガミが含まれてしまうため、地方の分け方が不鮮明になってしまう。

いずれにせよ、地方都市だけあってモガミとも強い繋がりがあるのだろうと推測できる。

レスター侯

大地人

アプレッタの父。〈エターナルアイスの古宮廷〉にはいるのだろうが、物語には登場していない。

アプレッタ

大地人

新緑の髪の娘で、レイネシアと同時に舞踏会デビューをした。

レイネシアに近づくクラスティの事は、お似合いの騎士と姫であると考えているようだ。15.6歳程度と恋物語に花が咲くさかりでもあるため、若い姫君達の間では一通り噂が出回っているに違いない。

アニメでは、オレンジ色のドレスに両サイドのおさげの娘となっていた。

城塞都市モガミ

豚肉に味噌？ 知らない調理法ですね。

東北の山形あたりにある都市で、領主のダルテ侯によると「地方でもっとも安全で快適な市街」。シズカミの大河を見下ろす高台に築かれている。水系のほとんどを治めているらしい。

最大人口のマイハマ3万人に対して、モガミの人口8千人というのは確かにかなりの規模である。オウウとの違いがいまい

ちわかりにくいか、地方都市として栄えているための別格ということなのだろうか。

牛肉や猪、小麦に米などが特産品らしいので、仙台のあたりも勢力圏に含まれているのかもしれない。おそらく蕎麦やさくらんぼ、ずんだに玉こんにゃくなどもあることだろう。

なお、個人的な希望として、

芋煮は牛肉に醤油であるべきだと力説する。

ダルテ侯

大地人

城塞都市モガミの領主。〈エターナルアイスの古宮廷〉には妻と長男長女を連れてきている。

田舎者じみた表情の壯年の男という外見に加えてグルメな食事のシーンをみると豪快な性格に見えるが、会話になまりは無く、しっかりと戦略をたてて晩餐会をしたてたり、ミチタカとの交渉で海上輸送のための造船技術の協力を示唆するなど、なかなかに喰えない人物のようだ。

ダルテ侯の奥方

大地人

若くぱっちりとした美人で、ミチタカからは後妻の可能性を疑われている。

食事の際に夫にツッコミを入れるふりをしつつ、美食があると知らせる言動を取るあたり、しっかりと貴族教育を受けた貴婦人であるようだ。

長男と幼い妹

大地人

長男は、小学校高学年くらいの意思の強そうな少年。豪勢な食事に目を輝かせているあたり、まだまだ紳士教育は途中のようだ。

妹は、晩餐会のシーンに「幼い妹」とあるだけで、詳細は不明。

特に長女と書かれているわけでもないので、領地を守る留守居として最年長の長女が残った、などの妄想も可能かもしれない。

自由都市イワフネ

イワフネビックサイト

スガナの治める都市。人口は一万人程度と貴族の中では中堅。ウェストランドへの海洋交易路に通じているらしい。

自由都市の名前の通り、開放的な政策の都市らしい。それが一般的な関税や市税あるいは法律なのか、貴賤や貧富まで踏み込んでいるのか、そこまではわからない。

「自由に二次著作物が頒布できる都市」だったらちょっと興味がある。

なお、岩船郡は新潟の一地方の名称である。

スガナ

大地人

フェヴェルの父。〈エターナルアイスの古宮廷〉にはいるのだろうが、物語には登場していない。

フェヴェル

大地人

赤毛の情熱的な娘で、レイネシアとともに舞踏会デビューをした。

アプレッタと同様に、レイネシアに近くクラスティの事は、お似合いの騎士と姫であると考えているようだ。

わざわざ情熱的と形容されているあたり、野性味のある華やかさだったり、あるいは恋多き娘なのかもしれない。クラスティに騙されて、レイネシアとの三角関係に悩んだりしないことを望む。

アニメでは、勝気な吊り目の少女で、青いドレスで着飾っていた。

ツクバの街

万博の跡がひっそり残る



キリヴァ侯爵の治めている、賢者の学舎を中心とした学者と魔法使いの都市。整然とした町並みが特徴。グリフォンの騎兵团が常駐していることから、情報収集や警戒・連絡網の速度が凄そうである。

筑波研究学園都市がモチーフだとすれば、図書館情報学から各会社の研究施設、移動に馬や

馬車が必要な広大な大学、などがあるに違いない。JAXAが考慮されていたら、ロケットの残骸なども期待できる。

研究都市としての資料だけでも、質・量共にかなりのものがありそうだし、シロエやロデリックを派遣したら、半年は出でこないのではないだろうか。〈ロデ研〉のいいライバルになりそ

うな都市である。

キリヴァ侯爵

大地人

ツクバの街を治める脂ぎった中年の領主。学問ギルドの勢力が強いためなかなかの苦労人。領地からの連絡で大規模なゴブリンの侵攻を知って、領主会議の開催を打診。まっさきに〈自由都市同盟〉憲章による助力を求めた。

「昨今のヤマト列島北部の治安状況」会議で、〈冒險者〉に暴言を吐き、ミチタカと深刻な対立構図を作りだしてしまう。

猫を被っていた時でも、クラステイを誘ったらレイネシアを盾にして逃げられるし、〈冒險者〉と相性が悪いのかもしれない。

魔術師(仮名)

ツクバの街の留守を預っていた人物。水晶球による遠隔通信魔法で、ゴブリンの侵攻をキリヴァ侯に伝えた。一般的には文官と考えられる魔術師が代理人として統治できるあたり、いかにも学問都市の色合いは強そうである。

(4巻P19)

家臣団(仮名)

クラステイを誘っていた時に付き従っていた、キリヴァ侯の執事や侍女たち。会議でキリヴァ侯が大暴れしてしまったので、しばらくは不機嫌な領主をどうなだめるか大変だったに違いない。せめて、侯が手近な家臣に当たり散らさない性格であることを望む。

(3巻P188)

ウツルギ神前街

例大祭やってます

クレンディット男爵の治める領地で、いにしえの聖王の靈廟の南に位置する。古アルヴの町並みが残されている。

神官戦士団が精強なようだが、ゴブリンに通りすがりに蹂躪された地域。都市防衛や死守という話にはなっていないので、街はおそらく進路から外れていて無事だったが、周囲の町や村が

被害を受けたのだろう。

神前街との名前から大きな神殿があり、神職が多く勤めていると推測できる。きっと、〈神祇宮〉用の大きなクエストポイントでもあるのだろう。縁起が良い猿たちの精霊などが手にはいるのかもしれない。

例大祭などが行われるならば、復興のいいイベントになりそう

である……ふとどきな〈冒険者〉達が東のほうの薄い本を配りはじめなければ、だが。

クレンディット 男爵

大地人

領地がゴブリンの被害を受けたことから、周囲からの圧力で「昨今のヤマト列島北部の治安状況」を招集する羽目になった人。震えてひび割れた声で話し黒髪をしきりにいじり脂汗を流すなど、言動からは弱々しい感じしか受けられない。

キリヴァ侯爵の言動で激昂したミチタカに対して「ミチタカ卿」と呼び掛けで煽るなど、結論だけを見れば、会議を混乱させた助演賞は間違いないだろう。

従僕

大地人

クレンディット男爵の従僕。混乱した会議で息も絶え絶えになった主人を介抱しようとしていた。

従僕といつただけでは色々な役職が考えられるが、領主会議の場に出られることから、この場合は主人直轄で世話をを行うヴァレット (valet) と判断すべきだろう。(主人が女性であれば侍女となる) (4巻P185)

その他、所属不明

ほとんどが名前だけの人たち

自由都市同盟イースタルの所属であることは確実だけれども、名前だけが出ている人達や、具体的な所属がわからない人たち。

カシワザキ伯

大地人

カシワザキ雷鳴街の領主。ドワーフ技術による三層構造の地下都市ということで、農業よりは鉱業に力を入れてそうである。新潟付近の領主なのだろうか。原発問題が反映されていると、なかなか大変そうな立地である。

「昨今のヤマト列島北部の治安状況」会議で、〈冒険者〉を駆り出すべくキリヴァ侯に同意を求められた。当人がどのような反応を示したかは不明。

タイハク侯

大地人

タイハク雲城・外城の領主。雲城が堅固な山城、外城がふもとの城下町らしい。タイハクが太白ならば仙台の一部だが、モガミやオウウと領地が被りそうな懸念がある。侯ということからそれなりの格式を持っていそうでもあるが、どう分割されているのだろう。

「昨今のヤマト列島北部の治安状況」会議で、〈冒険者〉を駆り出すべくキリヴァ侯爵に同意を求められた。当人がどのような反応を示したかは不明。

スワ湖畔長

大地人

スワ湖畔市の領主。〈スワ大社〉の参道を中心としていることから、諏訪大社関連を含んだ領主なのだろう。〈神祇官〉向きの土地の可能性は高そうだ。

〈冒険者〉と〈大地人〉とのマナー差が問題になっているらしいが、柱にラクガキした不届き者でもでたのだろうか。

「昨今のヤマト列島北部の治安状況」会議で、〈冒険者〉を駆り出すべくキリヴァ侯爵に同意を求められた。当人がどのような反応を示したかは不明。

ある地方領主

領地の戦力を、30レベルの騎士団が15名と、衛士隊、農民兵が100人ほど、と漏らしていたのを、アカツキが盗み聞いた。

多少のブラフは混じっていそうだが、シロエはほぼ実情と判断していた。〈冒険者〉が30人いれば制圧できるとあつたが、練度やレベル差を考えると、ブリガンティア程度でも制圧できそうである。(3巻P193)

地方領主の息子

アカツキを子供あつかいして、飲み物をすすめたり、ダンスに誘ったりした。

(3巻P191)

騎士

アカツキを子供あつかいして、飲み物をすすめたり、ダンスに誘ったりした。地方領主の息子とどっちがどっちだつたのだろう。どちらにせよ、ダンスに誘う方がより強い口り疑惑となる。(3巻P191)

少女姫

若手騎士を中心とした夜会で、噂話に小さな歓びの声をあげていた。(3巻P167)

侯子

若手騎士を中心とした夜会で、礼節をもって振って舞っていた。(3巻P167)

学者の卵

若手騎士を中心とした夜会で、苦笑に近い笑みを渋く見せていました。いったい何を話していたのだろうか。(3巻P167)

官僚

若手騎士を中心とした夜会で、ほっそりとした姿を見せていた。(3巻P167)

二人の〈大地人〉

大地人

ザントリーフ半島掃討戦で、クラスティ率いる本体に同行して地元の地形の案内をしていた。周囲は高山三佐達が固めていたはずだが、戦場の間近まで殺気だった〈冒険者〉を案内するなど、なかなかに恐怖体験だったと思われる。だが、報酬もその分たっぷりと支払われたと推測できる。向こう10年は話せる土産話になったことだろう。

エリッサの妹(仮名)

故郷にいるらしいエリッサの妹。少しだけリーゼに似ているらしい。

仮にも下級貴族の娘なので、本当にお嬢様っぽいお嬢様なのだろう。(6巻P110)

エリッサのとある一日

レイネシア着替え地獄

「レイネシアのとある一日」を読んで、ではエリッサは？という疑問を「英國メイドの世界」(久我真樹)を元に想像してみます。

06:00 起床

06:30 午前服に着替えて本日の予定を確認。それぞれの服の組み合わせを考え、午前用の服を用意する

07:00 紅茶とシリアルを用意して、レイネシアを起こしにいく
07:15 起きたレイネシアの髪を梳り、午前用の部屋着に着替えさせて化粧をする

07:45 本日の予定をレイネシアに連絡

09:00 手配させておいたハウスメイドの仕事を確認

10:00 レイネシアの執務の補助

11:30 ぐうたらな主人のためにお茶を用意。昼間用の街着に着替えさせ、化粧も変えて変装させる

12:00 街着に着替えてレイネシアの昼食買いのお供をする。レイネシアの食事の後で、上級使用人の食堂で食事。終わったらレイネシアを午後の来客にあわせた服装に着替えさせ、宝飾品を選ぶ

13:00 レイネシアの来客対応の補助。相手にあわせてレイネシア

を着替えさせる

15:00 午後服に着替えて、レイネシアを午後用の服に着替えさせる。執務とクラスティ訪問を想定してきちんとしたもの

15:30 クラスティが来るのでお茶とお茶菓子の準備

16:00 レイネシアの仕事の進捗状況の確認。翌日以降の予定を脳内で組みなおしつつ、レイネシアがぐうたら昼寝しないか見張る

16:30 夕餐会がある場合は手配状況を確認し、レイネシアを夕餐会用のドレスに着替えさせる

17:30 レイネシアの夕食の後で、上級使用人用の食堂で食事。夕餐会の場合は社交で行われた事項を確認・整理する

19:00 準備しておいたお風呂にレイネシアを入れ、夜の室内着に着替えさせる

21:00 レイネシアを寝間着に着替えさせつつ、本日のまとめを報告。その後ベッドに押し込む

22:00 服飾や宝飾品の管理。終わったら服や化粧品を作成したり、専門の業者への手配を依頼

23:00 執務やハウスキーパーと打ち合わせて、翌日の予定や必要なものの手配状況を確認

24:00 寝間着に着替えて就寝



アキバの街



大神殿を備える〈冒険者〉のプレイヤータウンにして、供贊一族が支援する街。〈大地人〉からすれば、特異な街というだけでも飽き足りないだろう。それでも、〈大災害〉後は〈冒険者〉との交流も進み、それなりの人数が流入したり、交易のために出入りしているようだ。

〈大災害〉発生直後、無愛想で機械的に動く〈冒険者〉が、急にわめきだしたり、殺伐として〈大地人〉にあたりちらしていたことから、田舎に帰っていった〈大地人〉もそれなりにいたと思われる。8巻現在では〈天秤祭〉のようにオープンな交流や商流がうまれつつあり、さぞや利に聰い者達が集っていることなのだろう。それが役目とはいえ、異文化の間にはさまれているレイネシアの苦労も当然である。

そろそろ〈冒険者〉も余裕が出てきているだろうし、現実を模してビル前面に痛ペイントができていたりして。



水楓の乙女

どんなピンチの時も 絶対あきらめない

レイネシアが赴任する水楓の館に集う乙女達の総称。最初は、シロエに言わされたアカツキが護衛として日参するだけであったが、徐々に関与する人数が増え、多数のギルドから様々な乙女たちが集うかしましい場となった。中でも、ワードローブのバリエーションを増やしたいエリッサに頼まれた〈三日月同盟〉の面々の意欲はすさまじく、レイネシアのみならずアカツキを生け贋にしてのファッショショーンシーが繰り広げられている。

アキバの対殺人鬼戦では、協力を求めたアカツキに手をかす形で、〈水楓の乙女〉として一致団結し、見事な作戦と連携により殺人鬼を追いつめ、事件を解決した。

アニメのレイドでは、他にセイネ〈盗剣士〉、ユズコ〈召喚術師〉、円東アキバ〈召喚術師〉、飛羽〈暗殺者〉、くりのん〈施療神官〉などを確認。

※所属団体が明確な人は、そちらでご覧ください

白虹

召喚術師

水楓の乙女の一員。対殺人鬼戦では〈巨石兵士〉や〈神槍の乙女〉を召喚してアカツキを助けた。(6巻P280)

アニメでは、LHZリブレイキャラのセイネを水楓の乙女に連れてきた。Twitterのエリッサさん情報によると「ガノタ」。



ラーニャ

水楓の乙女の一員。(6巻P170)

アニメでは何故か水楓の乙女のパーティチャットに存在しなかった。



小豆子

水楓の乙女の一員。

(6巻P170,P230)

アニメでは手品師のようなスーツ姿。〈付与術士〉として〈暗殺者〉の飛羽と組んでおり、〈ソーンバインド・ホステージ〉から〈ラビッドショット〉への連携を披露した。



〈暗殺者〉

暗殺者

水楓の乙女の一員。弓アサらしく、遠距離からの狙撃〈アシネイト〉を殺人鬼にぶつけた。(6巻P293)



ラッキーダイス 桃色賽子の姉妹

アカツキに小手を贈る(6巻P255)



リングイネ

にゃん太班長が認める おいしいお店

アキバの街にある、〈大地人〉経営の居酒屋兼食堂。トマト味のおでんのような煮込み料理が自慢の一品。他にも各種お酒やオレンジ水など、色々と美味しいそうな料理が多そうである。

天秤祭では青年貴族が給仕の娘に対して暴れようとして、護衛もろとも、にゃん太につまみ出された。楽しくセララとデー

トして食事しているところに無粋な輩がきたわけで、しかも紳士としては許せない暴挙。つまり出されただけですんで何よりでしょう。

定番ではトラブル避けの用心棒でも雇うところだけれども、常連がいそうだしそのままでもいいのかな。

給仕の娘

大地人

リングイネで給仕中に食器を落としてしまい、〈大地人〉貴族にトマト煮をかけて、殴り倒される。その後、にゃん太の機転もあり無事に解決。真っ赤になって周囲に頭を下げまくった。アニメでは、エルレイズという名前。

にゃん太によるスマートな放逐と、〈冒険者〉の回復呪文により、体の傷、心の傷共に大丈夫だと思われるが、店主からどのような判断がくだされたかはまた別。アキバの街は日本人中心なのでチップの習慣はなさうだし、罰金が割った皿と料理分程度であったことを望む。

青年貴族

大地人

リングイネで食事をしていたところ、給仕の娘にトマト煮の飛沫をかけられて、思わず殴打した〈大地人〉。店と〈冒険者〉達を相手に文句をつけた後、にゃん太に文字通りつまみ出されてしまう。アニメではウイツィクという名前。

食べにくる程度の近郊だったのか、それとも所用で訪ねただけなのかはわからないが、きっちり反省していればまだしも、悪感情を持つだけになりそうで、将来の禍根が心配である。(5巻P152)

護衛の戦士

大地人

リングイネで暴れた青年貴族についていた護衛戦士。アニメ版では集団となり、ツイン、ブライティーン、シュタール、ブローンセ、マルモア、モントシュタインという名前の〈大地人〉だった。ちなみに対抗した〈冒険者〉は、ゆきお、安全ピン、ジョン・ドンソン。

アキバの街の中で、せいぜい10レベルの〈大地人〉に何ができるかというと……案外、庶民の店に行きたいとわがままを言いだした若様のお目付け役あたりだったのだろうか。後で彼に罰が下されないように祈るのみである。(5巻P152)

おにぎり屋えんむすび

おにぎりを買って投票券を手にいれよう

二十数人の〈大地人〉達が経営する、おにぎりを宅配する店。5人程の可愛らしい少女達は、〈冒険者〉達に一種のアイドル扱いをされている。

〈ロデリック商会〉こと〈ロデ研〉のメンバーが、ランチに愛用しているらしい。

おにぎりという料理が人々ゲーム中にあった可能性は高い。

おにぎり自体は手作りでも簡単ですが、良い効果がついてしまうとスキルの問題から〈大地人〉の〈料理人〉には厳しくなってしまう。

きっと、既存のスキル料理を避けて手作りできるおにぎりを研究して選んで頑張っているのだろう。おかかや梅干しは既存でありそうだし、変わり種の具

が多そうである。

なお、レシピでは新製品の開発として、水棲綠鬼を主としたおかかや魚入りおむすびが披露されていた。

かえで

大地人

肩の上で切り揃えた艶のある黒髪。ころころ変わる表情が特徴的な少女。おむすび屋えんむすびで、クウデリヤと人気トップを競っているらしい。

(6巻P209)

クウデリヤ

大地人

おむすび屋えんむすびで、かえでと人気トップを競っているらしい少女。

(6巻P209)

レシピではトシミという娘が出ている。彼女も人気を争う一員なのだろう。

ブルームホール

四十三
新しい音楽が生みだされる場所

ギルド〈第七鼓笛隊〉の所有する施設。実体は、〈大地人〉が運用しており、レストランとファーストフードとライブハウスの中間のような営業をしている。つまりは、ロフトっぽい何か。

五十鈴たちがバンドとしてデビューしており、新しい歌を目当てに〈大地人〉たちが通いつめている。五十鈴たちの他にも、

数々のバンドが演奏し、意図せずに知らない歌を日々伝え続けているのだろう。

店長のドwarf

ドwarf

五十鈴の顔馴染み。大きな口をへの字に結びつつも、爪先でリズムをとっている。

給仕の娘

大地人

ブルームホールの給仕をする娘たち。〈大地人〉の間で人気の職業であり、定期的に入れかわるらしい。(8巻P195)

若いエルフたち

エルフ
大地人

ブルームホールに通いつめる若い吟遊詩人のエルフたち。新しい歌を覚えて、各地に伝えにいく。(8巻P196)



アキバの住人

明確な所属がでていなかったり、所属が小さな人々

カーネル少佐

ゲームの開始地点をアキバの街にすると転送される専用ゾーン。〈カーネル少佐の戦闘訓練場〉(チュートリアル・グラウンド)の主。白髪の温厚そうな紳士。しかし、激昂すると何をしでかすかわからないらしい。(2巻P29)

ちなみにチキンで有名なサンダースさんは、レッドアイ・グレービーソースをかけたチキンカントリーハム、そして焼き立てビスケットが本来の主力。

中年商人

大地人

天秤祭で、〈三日月同盟〉の販売する衣料品について、銛いつっこみを入れようとしたが、ヘンリエッタにかわされた人。(5巻P208)

売られていた衣料品は素のままではなく、基本ラインはスキルで作って、装飾やアレンジを手動、という感じだと思われる。基本的な縫製方法については「レベルを上げてスキルで作ればいい」とどうするつもりだったのだろう。

屋台モールの店員

アキバの中央通りにある屋台モールで、からあげを売っていた。ヘンリエッタとリーゼの会話をきいて即座に売りこみに入るあたり、抜け目がない。ニンニクのきいたからあげで、1キロ金貨1枚らしい。なお、オリジン弁当の「若鶴の唐揚げ(塩ガーリック味)」は、100グラム178円(268kcal)、ローソンの「からあげケン(レギュラー)」は5個210円(220kcal)である。(6巻P65)

〈事務局〉の娘

大地人

〈円卓会議〉の〈事務局〉で働いている〈大地人〉の一人。単純な事務作業などを委託されているようだ。ヘンリエッタとは顔見知り。エルダー・テイルは言葉は自動翻訳されるようだが、文字はどうか。〈大地人〉の文献が〈冒険者〉に読める形で提供されているのは確実だけれども、各サービス地域の言語を〈大地人〉はきちんと解釈できるのかどうか。(6巻P230)

キャラバンを率いる〈大地人〉

大地人

天秤祭の噂をききつけてアキバに向かった、荷馬車5台、20人ほどの〈大地人〉のキャラバンのリーダー。五十鈴とルンデルハウスが街まで護衛をした。

橙は静岡や和歌山、福岡あたりが特産。一方金柑は宮崎、鹿児島、熊本と九州勢が圧倒的。オリーブは香川、岡山あたりが有名。ということは、このキャラバンは、相応の流通経路を持つ豪腕であるようだ。(5巻P56)

架台の上の〈大地人〉

〈大地人〉

〈大地人〉のキャラバンの一員。(5巻P56)

個人の交易商

ボニーに荷物を曳かせて、アキバの街にむかっていた。
途中で黒剣騎士団による検問があったはずだが、彼はあのヤンキー集団を見て〈冒險者〉についてどう思ったのだろうか。街に入ればいやがおうにもわかるだろうから、あまり心配はないか。(5巻P60)

アトリエ・あるまじろ

厳密にはギルド名か。シロエを応援してアイテムを作成しているらしい。(5巻P138)

くしやたま 櫛八玉

リーゼが「彼ら自身であること」を最大の武器にしている人々の一人として、名前をあげた。(8巻P49)

詳細を知りたい方は、ヤマネ氏がなろうで連載している二次創作作品「辺境の街にて」を参照。情報は豊富だが非公式作品のため、本稿では取り扱わない。

変人窟の職人

LHZによると、変人窟とは、アキバの街に存在する雑居ビルと、その場所に集う生産系ギルドの総称。小規模ギルドや個人ギルドの集合体っぽいことから、往年の秋葉原のガード下にあった電子部品店のような雰囲気なのだろう。

ミノリ達一行が旅に出る前に、職人に見てもらつたらしい。(8巻P88)

帽子屋

〈Plant hwyaden〉が、〈七つ滝城塞〉の平定作戦への参加を把握している人物の一人。(7巻P34)

飛竜爺

〈Plant hwyaden〉が、〈七つ滝城塞〉の平定作戦への参加を把握している人物の一人。おそらくは、〈グランデール〉のギルドマスターであるウッドストック＝Wのこと。(7巻P34)

ルキセア

チョウシの町で、マリエールに買い出しを任せられた。(3巻P32)

和風屋小町

厳密にはギルド名。着物や振袖などを自作する生産ギルドで、アカツキがデート衣装を購入した。(5巻P262)

ANTIQUÉ

厳密にはギルド名。細工師ギルドで、アカツキが風鈴を購入した。(5巻P262)



その他 団体



〈大地人〉の一族や、アキバ以外の街にすむ人々など。

神聖皇国ウェストランデ

遠まわしに優雅な皮肉を言う文化はない様子

神事のためにイセに移り住んだ斎宮家を〈ウェストラント皇王朝〉の後継として抱いている、西の大勢力。ヤマトの盟主を自認し、東夷と見下す〈自由都市同盟イースタル〉と静かな敵対関係にある。また、斎宮家は濡羽の後ろ盾もある。

西洋風に見えるイースタルとは違い、男性でも紅を差し香水

を漂わせるなど、平安的な貴族文化がいまだに通用しているようだ。案外、和歌と蹴鞠スキルが必須教養なのかもしれない。必死に覚えようとする濡羽の姿を想像してみよう。

マルヴェス卿

〈大地人〉

〈神聖皇国ウェストランデ〉の大貴族にして商人。白い粘土をこね上げたかのような顔に紅を引いて香水をつけている。天秤祭でアキバの街に情報処理の飽和攻撃を仕掛けた。

所有する〈新型精靈船エーギル〉は、氷室を備え、500トンの輸送能力を誇る最新鋭の輸送船である。遠距離輸送していることから、アキバの〈オキュベーター〉よりも実用度は高いと推測される。

なろうでは「ランドスター卿」であった。

ミラルレイクの賢者

世界の知識を蓄えてきた研究一族

いくつかのクエストや街の噂、書籍などで目にすることのできる名前。重要なキーアイテムや、魔法家の鞄を作成するなど、高度な知識と技術を持っていると判断できる。実は、〈忘れられた書物の湖〉を守護する一族にして、世界の理に挑む学徒たち。

世襲であり、先代がジェレド＝ガン、今代がリ＝ガン。今までに何代続いてきたかは不明だが、各地に残る封印などを見るに、連綿と受け継がれてきた一族であると推測できる。きっと次代はスターク家のジェ＝ガンというエリートで、格上の敵相手に奮戦して格好良く散る役所に違いない。

リ＝ガン

魔法学者

エルフ

大地人

現在のミラルレイクの賢者。『エターナルアイスの古宮廷』にすみついて30年あまり、数年前に師匠が他界したことから名を継いでいる。魔法研究が専門で専門は世界級魔法、つまりワールド・クラシション〈森羅変転〉である。直継いわく小さいおっさん。

シロエに〈森羅変転〉と魂魄理論を教えたことが、後の“契約術式”魔法の開発に繋がる。〈冒険者〉の帰還理論にも研究が関わっていそうだし、物語の鍵を握っているそうな人物の一人。

十五代前

十五代前のミラルレイクの賢者。黄金の大渦の防衛に関与し、〈パルムの深き場所〉の封印をした。(7巻P62)

先達

ミラルレイクの先達。ヘイロースの九大監獄の、〈とこしえの闇の鍵〉を作りだした。(7巻P63)

くにえ 供犠一族

世界を管理するシステムが現出した一族

アキバの街などで銀行を管理する一族。ティアストーン山地に里がある。名前からすると、240年前の第二の「森羅変転」による「冒険者」の出現以来、各プレイヤータウンに常駐し、銀行業務を執り行う一族であり、数々の異常な能力を備える「冒険者」達に賛として捧げられた一族、「大地人」にして「大地

人」ではない生け贊(供犠)、と考えられる。

「大地人」の中でも特権的な一族であり、古代アルヴの技術の一部を継承し、都市間の口座管理を行ったり、大都市や主要幹線道路の結界や衛兵の用いる「動力甲冑」などの管理を行う。この事からすると、「冒険者」の出現以前から独特な地位を築い

てはいたようだ。

ミナミが保持する、久爾永の古代技術を源流とした魔導技術も、名前からすると、供贊の技術が利用されているのかもしれない。



供贊一族の若頭領。一族の窓口を勤めている。スミレ色の瞳に黒髪、立襟の礼服で年齢不詳な青年。余裕のある態度を自然にとる。ギルド会館の地下の迷路の奥に居室があるらしいが、アキバにおける供贊一族の本拠なのだろうか。

実は各地に複数人が存在する。襟の色が少し違うらしい。シロエは銀行の代表NPCがルーツではないかと推測している。

アキバの董星は魔法陣停止の際、大陸からきた天の災いに気をとられ、西の脅威を過小評価してきた。と言ったが、それが本当ならばエンバート＝ネルレスの暴走は西の策略の一部だということになる。

何にせよ、第三勢力の長ということで、今後の物語のキーersonの一人である。

エンバート =ネルレス

武士

大地人

レベル94のアキバの街の殺人鬼。その正体は、衛士が〈動力甲冑〉を用いた上に〈霞刀・白魔丸〉のフレーバーテキストにあるルグリウスに取り憑かれたもの。かなりの強化がされていた。

アキバの下水道に潜み夜な夜な〈冒険者〉を殺していたが、都市からの魔力供給を断った上で、レイネシアやアカツキ達、水楓の乙女により討伐され、〈霞刀・白魔丸〉は折られた。

渉務官

〈天秤祭〉でのレイネシアの夕餐会に参加。アキバの銀行業務の管理をしている。と、ということは毎日バックヤードで〈冒険者〉相手の出納計算して「計算が合うまで全員残りだ!」とかしているわけですね。機械計算もできないようだし、きっと手計算の鬼なのでしょう。そこに、ギルド会館ゾーンの入場料(税金)の自動徴収業務まで加えてしまうシロエのなんと鬼なことか。(5巻P252)

一族の若者

董星に、都市防御用魔法陣の停止の用意ができた旨を耳打ちした。たんなる中枢に勤める将来有望な伝令か、それとも側近のような存在なのか、詳細は不明。(6巻P276)

loggoharamemochisiki

◆セララの持つ〈家政婦〉技能。〈料理人〉の例からすると、〈家政婦〉が無いと、洗濯しようとした途端にボロボロになったり、染み抜きしようしたら焦げたり、掃除しようしたら、塵が増えるのだろうか。もし、そうだとし

たら、マイナーディスカウント超重要職業なのかもしれません。
◆1巻P334。目の前にロンダーグがいるのに、わざわざ死体のデミクアスの首を刎ねてます。なろうの10話ではロンドーグなので誤植かな?今の版はな

◆6巻P283の〈隠行術〉ですが、1巻P155では〈隠行術〉となっていました。LHZではハイドシャドウ。さて、どれが本当でしょうか?

イズモ騎士団

NPCによる英雄集団……だった

〈古来種〉のみによって構成される英雄集団〈全世界十三騎士団〉の一つで、ヤマトを守護する、ヤマトサーバの騎士団。

何故か、〈大災害〉後しばらくたってから、忽然と姿を消してしまった。その理由は……9巻を待ちきれない人は、公式サイトの外伝を読みましょう。

氷壁の英雄ルグリウス

あの憤りな娘の裏切りさえなければ

古来種

イズモ騎士団に所属していた古来種。百年にもわたって邪悪な巨人からスキノを守り続けた。愛刀は〈霞刀・白魔丸〉。

“春楓の娘”ストウイナウの裏切りにより、毒を盛られ謀殺された。その際に不老を失い英雄から転落。後の〈朽ちた歎〉のレイドボス、死戦士ルグリウスになったと考えられる。

エルダー・テイルでは悪魔との契約的な話は出てきていない

し、謀殺後の復活であることから、ゾンビ化でもしたのだろうか？

彼の怨念が、フレーバーテキストの呪いによりエンバート＝ネルレスに取り憑いたことで、アキバの街の殺人事件の原因となつた。

チョウシの町

浜茶屋に海の漢とはいかなかったようです

ザントリーフ河のほとりから少し離れたところにある町。特に領主の保護があるわけでもなく、旧世界の国道と思われるアスファルトの道によりそろそろ立っている。畑や田んぼ、果樹園などの農業と、河付近の倉庫群などからある程度の漁業も営んでいると推測できる。看板をかけた店も5,6個あり、街道から

の売り上げもあるようだ。

街壁を持たないために、チョウシの町攻防戦では両面から攻められ、陸からは〈緑小鬼〉、海からは〈水棲緑鬼〉が侵攻しようとした。〈冒険者〉達の活躍がなければ壊滅していたことだろう。

町長

大地人

チョウシの町の町長。70すぎの老人で気さくな人らしい。

チョウシの町防衛戦の際、疲弊した〈冒険者〉達に家のお風呂を女子用として解放した。若い娘達の残り湯に反応するようなヒヒ爺でないことを祈る。

主婦

大地人

チョウシの町の住人。ミノリを連れたマリエールに、町長の家はどちらか尋ねられ、町長の人柄まで答えていた。案外噂話好きなのかもしれない。主婦の間に、〈冒険者〉の美人姉妹(?)について色々と妄想が広まっていたりしても驚かない。(3巻P34)

アーヴ高地の集落

様々な特徴を持つ青い髪の人達が住むんでいません

典型的な農村で、何本かの未舗装の道路の交差点に、20軒くらいの木製の建物があるだけ。シロエたちがススキノからグリフオンで戻る際に立ち寄った。

村の世話役

大地人

短く刈り込んだ白髪に度の強い眼鏡の老人。60歳程度に見える。シロエ達に一夜の宿を提供した。アニメではヒヨードルという名前で、イワンとミーシャという孫もついてきた。

村長自ら「ベリーの樽漬け」というあきらかなスキル加工品を売りつけるあたりがやり手。この時点ではまだ加工品は味が無いはずだし、あつたらあつたで、自ら手作業を見出した在野の達人ということになる。あるいは、アニメでチーズがそうだったように素材アイテム扱いなのかもしれない。(2巻P48)

主婦

大地人

白いブラウスに、厚手のふんわりとした布スカートの主婦。天候の急変に気がついて小走りに駆けていった。(2巻P48)

少年

大地人

犬を連れた牛追いの少年。天候の急変に気がついて小走りに駆けていった。(2巻P48)

ススキノ

素材がおいしそうな街。ラーメンはあきらめよう

ヤマトサーバのプレイヤータウンの一つ。北海道にあり、北の巨人族からの侵攻を受けている。〈大災害〉直後は、〈ブリガントニア〉などの無法者たちにより、〈大地人〉を売買したり、弱い〈冒険者〉から搾取したりといった、恐怖の街となっていた。だが、〈シルバーソード〉が〈ブリガントニア〉を傘下に下し街

を押えることで、一定の秩序が保たれるようになっている。

なお、名前の通りの歓楽街があるのかどうかは不明。お水に沈められた娘さんたちがいなかつことを望む。

老婦人

大地人

大きな紙袋をかかえた、子供連れの老婦人。毛皮のコートに円筒形の帽子。おだやかそうな表情から、ススキノの平穏な状況がわかる。(7巻P92)

猫人族

大地人

〈シルバーソード〉のギルド内で、調理場のカウンターからのぞいていた。(7巻P109)

デミクアスの嫁

大地人

嫁

〈大地人〉貴族出身の、デミクアスのお嫁さん。肉付きが悪く、色気に乏しい鶏ガラみたいな容姿に、ギラついた瞳と皮肉そうな笑い。さっさと殺せ、殺さないなら掃除するからだけ、などと大分殺伐した関係のようだ。

デミクアスにより召し使いにしようとさらわれたところを、いき届いた掃除にパリッとしたシーツ、三食用意と、胃袋と居住環境で制圧したらしい。正式な結婚はしていない様子。(7巻P112)

アニメでは、ウバシ(アイヌ語で雪)という名前がつき、C V能登麻美子、それなりの美人と、勝ち組になっていた。

サザンの町

超時空騎団はいないし、シンが治めているわけでもない

ヤマトの大動脈である〈西への街道〉に連なる街。流通拠点として交易商人が利用するために周辺の漁村や農村よりも大きい。市がひらかれたり、宿が普通に常設されている、などと栄えているようだ。

宿の老人

大地人

巨大な犬を足元に従えた、ヤギのような真っ白眉毛の老人。暖炉脇でうとうとしており、客の注文を聞いてから実際に切り盛りしている孫娘たちに注文を伝えるのが役割のようだ。(8巻P83)

宿屋の孫娘たち

大地人

老人からの注文を聞いて、実際に料理したり届ける役目。(8巻P83)

海の男

大地人

赤銅色の肌をした、海の男らしい大地人。宿屋で、早めの酒を楽しんでいた。(8巻P83)

エルダー・テイル式交渉術

リ＝ガンの魔法分類を元に、交渉をその効果の規模で分類した。

動作級交渉

一つの動作を代替する規模の交渉。
無意識に日常的によく使う交渉事はだいたいこの範囲に入る。
例)「主君、塩を取って欲しい」

戦闘級交渉

一つの戦闘のゆくすえを決定する規模の交渉。食事に誘うなどもほとんどはこの範囲だろう。

例)「<ブリガンティア>のデミクアスさんってのはどなたですか～。」

作戦級交渉

二つから三つの戦闘をまとめて左右する規模の交渉。上司や営業が活躍するのはこのあたりからだろうか。

例)「…一人じゃできないんだ。だから助けて欲しい。助けて、ください」

戦術級交渉

一日から数日、城塞一つ、館一つ、などを左右する規模の交渉。コミックマーケットは警察・消防と毎回この規模の交渉をしているようだ。

例)「ロエ2さんは誰なのですか？どこから来て、どこへ行くのですか？」

戦略級交渉

ひとつの戦争を左右する規模の交渉。外交の規模になってくるので、個人ではほぼ無理。

例)「クラスティ様。これからアキバの街に向かいます。供をしてください」

国防級交渉

国家一つを左右する規模の交渉。ドイツやポーランドの歴史などを調べると色々と出てきます。

例)「いざれ貴女が理由を探すときのために、敵でいることにします」

大陸級交渉

大陸一つ丸ごとを左右する規模の交渉。失敗すると世界大戦がはじまったり、陣営の勢力が大きく傾いたりする。

例)「よく聞いてくれ…。これから町の住人を一人残らず殺すんだ」(タクティクス・オウガ)

世界級交渉

世界一つを左右する規模の交渉。物語ではよくある事だが、現実には大きすぎて対象にならない。Gガンダムのドモンの告白など、個人間の交渉でありながら実質的に地球丸ごとが対象など歪な構造もよく見られる(いわゆるセカイ系作品)。

例)「あなたはそこにいますか？」(蒼穹のファフナー)

コユルギの街

〈冒険者〉もたちよる、交通の要所

ボクスルト山脈の東側にある、二股になった河が形造る広い三角州にある街。交易路にある街であるため色々と栄えているようだ。

宿屋には〈冒険者〉が伝えたメニューとして目玉焼き丼がある。ミノリたちは醤油、塩、中濃ソース、ケチャップ、マヨネーズから調味料を選んでいたも

のだが、このラインナップの充実っぷりはアキバから持ちこんだからだろう。交易路にあっても常食することは難しそうであり、少々高目でも良ければ入手できる、という程度と推測する。

ヘイズ親方

大地人

河ぞいの森で、〈人喰い鬼〉に追われて、森の中から出てきた木こりたちのリーダー。後から考えるに、〈人喰い鬼〉は〈闇精霊の従僕〉に駆り立てられていたのだろう。(8巻P96)

木こりの助手

大地人

ヘイズ親方同様に、〈人喰い鬼〉に追われて逃げてきた3人。(8巻P104)

給仕

大地人

宿の食堂でミノリたちに給仕した男性。助けた木こりたちからのおごりである、豪華な目玉焼き丼を運んできた。(8巻P115)

旅人

宿の食堂で、町の顔役や職人と相談していた。(8巻P119)

町の顔役

宿の食堂で、旅人や職人と相談していた。(8巻P119)

職人

宿の食堂で、旅人や職人と相談していた。(8巻P119)

商人

宿の食堂で見かけた、ずいぶん長く逗留している雰囲気のある商人。(8巻P119)

職人たち

宿の食堂で見かけた、沈痛な表情をした職人たち。ボクスルト山地でモンスターの活躍が活発になっており、通れなくなっていることが原因と思われる。(8巻P119)



サフィールの街

サフィールと呼ぶがよい

レッドストーン山脈の近く、靈峰フジから流れこむ大河と共にある街。赤土の街道の要所でもある。ゆったりとした街のつくりであり、たっぷりと間隔をとった木造建築の平屋の間に、手入れされた庭や菜園、雑木林など緑が多い。

ミズファによる〈赤き夜〉作戦により、レッドストーン山地

に生息する〈鋼尾翼竜〉の群が追いかまれ、街を襲った。

結果的に、ミノリたち一行や〈オデュッセイア騎士団〉が街を守ったことになるが、騎士団が〈鋼尾翼竜〉を街中に引きこんで消耗戦を繰り広げたこともあり、被害は甚大である。

子供

五十鈴たちがサフィールの街から去るときに、歌声を響かせた。世界と五十鈴の、ささやかな再誕歌(バースデイソング)、四十三番目の歌を歌う(8巻P250)

〈大地人〉

大地人

炎から逃げ出しているところを、ミノリにより障壁呪文を受けた。(8巻P317)

兄弟

大地人

野兎の兄弟のような〈大地人〉。泣きそうな顔で固く身を寄せあって、地下室から覗いていた〈大地人〉たち。〈闇精霊の従僕〉より襲われようとしているところを、五十鈴とルンデルハウスにより救われた。(8巻P320)

〈大地人〉の一団

大地人

朝もやの中、丘の方に歩いていく一団。
トウヤは農作業だろうと推測していた。
(8巻P206)

〈大地人〉

大地人

トウヤが朝の散歩で、あいさつついでに少し荷物運びを手伝った。(8巻
P208)

〈大地人〉

大地人

朝、メインストリートの道端で魚を焼いていた。トウヤに焼き魚をわかる。(8
巻P208)

主婦や子供たち

大地人

トウヤが朝の散歩中にみかけた〈大地人〉たち。洗濯物を干していた。(8巻
P208)

漁師

大地人

トウヤが朝の散歩中にみかけた〈大地人〉。河に浮べた小舟で、網らしき白っぽい塊をほぐしていた。(8巻P209)

親子

大地人

ミノリとロエ 2 が救った〈大地人〉親子。何度も感謝を述べつつ逃げていった。
(8巻P318)

その他のセルデシア住人

伝承に出てきたり、出身がよくわからない人たち。

古のロガ=ザリ

古代ウェストランド正規軍で指揮をとっていたらしい人物。〈烈火の豪槍〉のフレーバーテキストによると、ロガ=ザリは槍を優秀な騎士に与えて、部下の勇気を鼓舞したらしい。

この槍のテキストが実体化すると、強制的に勇気が鼓舞されるのだろう。パーティメンバーが強制的にハイになるに違いない……ひょっとしてアナイ葉？

“春楡の娘”ストウイナウ

氷壁の英雄ルグリウスに毒をもって謀殺した女性。ルグリウスの憎しみの対象からすると、普通の〈大地人〉である可能性が高い。

英雄を転落してレイドボスにまでは、いったいどんな修羅場を繰り広げた末に実力行使に挑んだのであろうか。あるいは、何もなさすぎて焦がれた末の反抗か。いずれにしても、女性は怖いものである。

剣士セゴート

デクミの城塞で敵を返り討ちにした後、ナインティールに戻り政敵を討ったとされている英雄。後のオイドウォン家に繋がる。(8巻P362)

獵師

大地人

山歩き一筋30年。赤い磨いたような太い手足にがっしりとした顎の、手練れの獵師。強弓や、山刀をふるう。アニメではロシという名前。

徒弟の少年を連れてオウウの東尾根に行こうとしたところで、ゴブリンの大規模な群れに出会う。(3巻P6)

獵師の徒弟

大地人

獵師に弟子入りして一年ほどの、華奢な体躯の少年。山歩きの方法も、短弓の腕もまだまだ発展途上。アニメではイムという名前。

ゴブリンの群れを見た時、彼は何を思ったのだろうか。深山の神秘ならば今迄もあっただろうが、ゴブリンは天災にしか見えなかつただろう。無事に村まで戻り、生きのびたことを祈る。(3巻P6)

商人

大地人

憔悴した状態でいきなりトウヤに剣を売りつけはじめた商人。アキバで鉄の剣を二十四箱買いこんだところ重すぎて、箱根越えで二台ある馬車の片方の車軸が折れて、一晩困っていた。トウヤたちにより、ボクスルトの山岳砦まで往復して荷物を運んでもらった。

(8巻P146)

商人の護衛

大地人

剣を積みすぎて荷馬車が壊れた商人の護衛。鉄の剣が詰まった箱をミノリ達は二箱三箱と運べたが、護衛たちだけでは、荷物を担いで旅ができるだけの余力は無かったようだ。(8巻P146)

魔女マリヨーナ

サドルバック
マリヨーナの蔵袋の作成者。レベル80
のクエスト〈マリヨーナの漆黒の馬〉の
主役でもあるようだ。(5巻P6)

**△ログホラまめちしき**

◆TRPG業界では有名な「首ナイフ問題」。首にナイフをつきつけて人質にとった。しかし、人質に高いHPがあれば無事なのではないか?いや一発死亡だろう。しかし、エルダーテイルでは見事に解決されているのであった。(1

巻P334)

◆一人冒険者時代のルンデルハウス。苦労人というよりも、鍛えようと思うあまりに、ついうっかり妖しい商人の品に手を出すのが容易に想像できてしまう。「魔法力養成キラス」「通信教育

体術」「トルマリン魔力整調器」「妖術師がよくわかる本」「熊トラップ」……。
〈冒険者〉への道は険しい。



ほくたちのリアル 現実世界

我々の世界と同一とは限らない

回想などで出てくる、現実世界の人々。〈冒険者〉たちが、彼等彼女等に再び逢えるのはいつの日か。

五十鈴の父親

プロのミュージシャンでロックンローラー。アニメでの作曲家、高梨康治氏がモデル。

バンドでデビューしたものの売れず、スタジオミュージシャンに転向。昔は、バイトして買ったおんぼろのワゴンで、盛んにライブハウス遠征をしていたらしい。合間にバイトをしていたが、レストランや警備員など短期ができる仕事が多かったようだ。

五十鈴にも直接・間接的に音楽の楽しさを伝えており、才能が無いといつも、香川県民にとってのうどん、愛媛県民にとっての蜜柑のように、音楽だけは欠かさなかったようだ。

シロエの両親

結婚を機に東京郊外のニュータウンに引っ越してきた。共働きのため、放任主義でシロエを育てた結果が、今のシロエの性格を形造った。(7巻P208)

イスラム系の店主

シロエが茄子のカレー目当てに通っていたカレー屋の店主。横浜弁をしゃべるイスラム系で、インド人ではない。胡散臭いインド人のイラストの看板が目印。カレーがバーモントカレー味だったりと、あまり売れてはいなかったようで潰れてしまい、店舗跡は牛丼カフェやラーメン屋になっていた。(7巻P209)

双子の母親

トウヤとミノリの母親。言及だけしか無いが、トウヤの入院費用や諸経費、二人の高校受験に備えた貯金など、心労・苦労が絶えなかったと思われる。(8巻P212)

トウヤの担任教師

トウヤが思い出した五十がらみの担任教師。二十すぎの美人の女性との対比で思いだされた。(8巻P212)

交通事故の運転手

トウヤを車で跳ねた運転手。救命治療室にいるトウヤの隣のベッドで、事故の夜を越せずに命を落とした。(8巻P271)

トウヤの主治医

トウヤの交通事故後の主治医。沈痛な表情が張りついたように固まった人物。(8巻P271)

看護婦たち

トウヤの交通事故後に世話になった看護婦たち。職業的な優しさを示すが、一様に口数が少なかった。(8巻P271)

◆ログホラまめちしき

◆最低ランクの宿屋の値段が二種類あることに気がついているだろうか。シロエによる金貨5枚説(1巻P199)と解説による金貨10枚説(2巻P158)。解釈としては、シロエが一般的ではない方法まで想定していたり、使わないので

過去の情報を更新しないでいた。という説ができる。

◆HMLで気がついた点。〈三日月同盟〉の〈料理人〉がハンマーとノミでクレセントムーンの看板を作っている。工作系スキルは無いはずなので、看板

がめだま焼き以下の難易度…ということは無いだろう。ケーキ等の飾り細工の延長で応用できたのかもしれない。

境界線

現状では、委細不明

名前をのぞけば、ロエ2を通じてしかわからない存在。クラウドやメソッドなど、謎の語彙を駆使した説明は、一般の人には理解不能。ただ、プレイヤー達が提供する〈エンパシオム共感子〉という資源が〈冒険者〉と彼女たちを繋ぐ鍵となるようだ。

ロエ2

召喚術師

吸血鬼

ハーフアルヴ

月から来た、白いコートに丸眼鏡の美女。〈吸血鬼〉を辞めるために、オウウのあたりからイコマを目指して旅をしている。死霊系以外召喚できない、生糸の〈死霊術師〉。

歴史を語ったり、召喚したソードプリンセスの名前に〈六姫姫〉ルーキンジエが入っているなど、過去の歴史にも関わりがありそうな雰囲気がある。

だがそんな事は関係なく、ミノリたち一行のお姉ちゃん。お姉さんは妹分を見すぎてない。蹂躪されるサフィールの街を救おうとするミノリたちに手を貸し、先達として道を示した。格好良いお姉さんである。

採取者

ロエ2によると、〈冒険者〉たちの死亡により提供される〈共感子〉を採集するものたちを示す言葉のようだ。



凶ログホラまめちしき

◆シロエによる通信網の構築について考えてみる。まず、三元通信だとマイク役とスピーカー役で 6×3 の18名が必要になる。マイク役とスピーカー役をまとめても 3×3 の9名。単純中継にもそれなりに慣れや技術はいるし、宮廷組は割とギリギリの人数である。

シロエなら後々、アーピター(調停役)を置いたり、ジャンクション(中継役)を作ったりで、「基礎技能はいるけど、その分人数は少なくすむ」多元通信をひねりだしそうである。例えば、口述筆記メモを利用して一時記憶+トランクリング方式にすれば、拠点数が増えても1拠点3人(送信/受信/記録)でまわせそう。リアルタイム、にしてはのんびりするけど効率は良い。

◆〈動力甲冑〉にはゾーンを越境する能力がない(6巻P248)とある。ならば、何故〈ハーメルン〉はギルド内で慎重

に暴力をふるっていたのだろう。越境できないだけで詰所からの直接転移が可能なのか、それとも殺人鬼事件の時は、ネルレス個人の名前がわかった時点で皆がブラックリストに入れたりしたのかもしれない。

「転移にはゾーンを越境する能力がない」だから、プライベート領域内で暴力をふるうと「(ガラッ)衛士詰所から来ました!」と歩いて押し掛けるだけの可能性もある。どの道違反者は追跡されて逮捕されるので、わずかに生きのびる時間が長くなるだけなのだろう。

◆こんなシロエは嫌だ。全力管制恋愛の使い手。「1%刻みの惚れ具合で、先行30言かな」。そしてそれを模倣し、結果「あれ」「はい、どうぞ」の仲になるミノリ。もげろもげろ。

◆アニメによって大幅に出番が増えたキャラクターは多い。せめてその幾分なりとも本編に反映して欲しい、とまとめていて何度も思う。設定上はシゲルや菜穂美など脇役もいるんですけどねえ……アインスさん家。

◆レイネシア姫の職業は4巻P70では〈貴族〉、しかし6巻P238では〈薔薇園の姫君〉になっている。レベルも12から14になっているし、アキバの街に赴任するにあたり、転職したのだろうか。

◆濡羽のサブ職業は〈娼妓〉であることは良く知られているが、書籍版やアニメ設定を見ても出てこない。Twitterでは以前から盛り上がっているので、リニューアル前の公式サイトに掲載されたのだろうか。今からでは確認ができない事項である。



[書誌情報]

名称 エンサイクロペディア ログ・ホライズン(2014冬版)
発行 星詠亭
発行者 銀雨 (Twitter @silverrin)
発行日 2014/12/29
印刷 ねこのしっぽ
連絡先 Twitter または、<silver@mamarepedia.com>

The Encyclopaedia Log Horizon

2014 Winter